

講義名	研究演習 I	履修基準 年度	3年	担当者	安 熙錫 (AHN HEESUK)
-----	--------	------------	----	-----	-------------------

【Compulsory】 授業目的／Course Objectives *within 1,300 words	学生は国際企業などに関する文献輪読や実際の企業が抱える経営課題解決などを通じて企業経営とかかわる理論と実践の専門的知識を習得する。
【Compulsory】 到達目標／Attainment Objectives *within 1,300 words	学生は国際企業などに関する理論と実践を理解し、論文などの作成、報告、議論ができるようになる。
関連科目／Related Courses	経営戦略論、経営組織論、企業行動論は履修すること。
【Compulsory】 授業時間外の学習（準備学習等について）／Study Required Outside of Class (Preparation etc.) *within 1,300 words *サブゼミ等行う場合は明記してください。	サブゼミを行う予定なので火曜日3限から時間を空けておくこと。
【Compulsory】 授業計画 第1回／Class Outline Session 1	イントロダクション
【Compulsory】 授業計画 第2回／Class Outline Session 2	企業情報の収集方法
【Compulsory】 授業計画 第3回／Class Outline Session 3	国際企業に関する基本文献の輪読(1)
【Compulsory】 授業計画 第4回／Class Outline Session 4	国際企業に関する基本文献の輪読(2)
【Compulsory】 授業計画 第5回／Class Outline Session 5	国際企業に関する基本文献の輪読(3)
【Compulsory】 授業計画 第6回／Class Outline Session 6	国際企業に関する基本文献の輪読(4)
【Compulsory】 授業計画 第7回／Class Outline Session 7	国際企業に関する基本文献の輪読(5)
【Compulsory】 授業計画 第8回／Class Outline Session 8	国際企業に関する基本文献の輪読(6)
【Compulsory】 授業計画 第9回／Class Outline Session 9	国際企業の調査方法
【Compulsory】 授業計画 第10回／Class Outline Session 10	国際企業の実態分析
【Compulsory】 授業計画 第11回／Class Outline Session 11	国際企業の訪問
【Compulsory】 授業計画 第12回／Class Outline Session 12	国際企業の経営課題解決プロジェクトの実施(1)
【Compulsory】 授業計画 第13回／Class Outline Session 13	国際企業の経営課題解決プロジェクトの実施(2)
【Compulsory】 授業計画 第14回／Class Outline Session 14	国際企業の経営課題解決プロジェクトの実施(3)
【Compulsory】 授業計画 第15回／Class Outline Session 15	進級論文の作成方法
【Compulsory】 授業計画 第16回／Class Outline Session 16	国際企業の経営課題解決プロジェクトの実施(4)
【Compulsory】 授業計画 第17回／Class Outline Session 17	国際企業の経営課題解決プロジェクトの実施(5)
【Compulsory】 授業計画 第18回／Class Outline Session 18	国際企業の経営課題解決プロジェクトの実施(6)
【Compulsory】 授業計画 第19回／Class Outline Session 19	国際企業に関する専門文献の輪読(1)
【Compulsory】 授業計画 第20回／Class Outline Session 20	国際企業に関する専門文献の輪読(2)

【Compulsory】 授業計画 第 21 回 / Class Outline Session 21	国際企業に関する専門文献の輪読(3)				
【Compulsory】 授業計画 第 22 回 / Class Outline Session 22	国際企業に関する専門文献の輪読(4)				
【Compulsory】 授業計画 第 23 回 / Class Outline Session 23	進級論文の中間発表(1)				
【Compulsory】 授業計画 第 24 回 / Class Outline Session 24	進級論文の中間発表(2)				
【Compulsory】 授業計画 第 25 回 / Class Outline Session 25	進級論文の中間発表(3)				
【Compulsory】 授業計画 第 26 回 / Class Outline Session 26	進級論文の中間発表(4)				
【Compulsory】 授業計画 第 27 回 / Class Outline Session 27	進級論文発表会				
【Compulsory】 授業計画 第 28 回 / Class Outline Session 28	全体のまとめ				
授業計画 第 29 回 / Class Outline Session 29					
授業計画 第 30 回 / Class Outline Session 30					
授業計画 ※講義回毎の設定が難しい場合に設定 して下さい / Class Overall Plan *Only complete if you cannot fill in the section above					
教科書 / Textbook(s)	著者名 / author	タイトル / title	発行所 / publisher	出版年 / year	ISBN
参考書 / Reference Materials	著者名 / author	タイトル / title	発行所 / publisher	出版年 / year	ISBN
【Compulsory】 成績評価 / Evaluation Criteria / Method 評価種別は「 定期試験、定期レポート、授業中試験、平常レポート、その他 」のいずれかを指定してください。 種別に「 その他 」を指定した場合、必ず評価基準等を記載してください。 割合は、合計が 100%になるようにしてください。	種別 / Type	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.		
	その他 / Others	100	進級論文、経営課題解決プロジェクト、授業での発表・議論、ゼミ活動に対する貢献などによる総合評価。		
備考 / Note *within 1,300 words	8月に韓国合宿。9月に海外フィールドワークを実施する。				
検索キーワード / Keywords *within 100 words	国際企業 企業研究 経営課題解決				

講義名	研究演習 II	履修基準 年度	4年	担当者	安 熙錫 (AHN HEESUK)
-----	---------	------------	----	-----	-------------------

【Compulsory】 授業目的／Course Objectives *within 1,300 words	学生は国際企業などに関する専門的知識を活用して、各自、オリジナルティの高い卒業論文作成を目指す。
【Compulsory】 到達目標／Attainment Objectives *within 1,300 words	学生は卒業論文作成に必要な論理的な思考、論文の書き方などについて理解し、体系的な卒業論文を作成することができるようになる。
関連科目／Related Courses	
【Compulsory】 授業時間外の学習（準備学習等について）／Study Required Outside of Class (Preparation etc.) *within 1,300 words *サブゼミ等行う場合は明記してください。	価値のある卒業論文に仕上げるため、論文作成には多くの時間とエネルギーを費やすこと。
【Compulsory】 授業計画 第1回／Class Outline Session 1	
【Compulsory】 授業計画 第2回／Class Outline Session 2	
【Compulsory】 授業計画 第3回／Class Outline Session 3	
【Compulsory】 授業計画 第4回／Class Outline Session 4	
【Compulsory】 授業計画 第5回／Class Outline Session 5	
【Compulsory】 授業計画 第6回／Class Outline Session 6	
【Compulsory】 授業計画 第7回／Class Outline Session 7	
【Compulsory】 授業計画 第8回／Class Outline Session 8	
【Compulsory】 授業計画 第9回／Class Outline Session 9	
【Compulsory】 授業計画 第10回／Class Outline Session 10	
【Compulsory】 授業計画 第11回／Class Outline Session 11	
【Compulsory】 授業計画 第12回／Class Outline Session 12	
【Compulsory】 授業計画 第13回／Class Outline Session 13	
【Compulsory】 授業計画 第14回／Class Outline Session 14	
【Compulsory】 授業計画 第15回／Class Outline Session 15	
【Compulsory】 授業計画 第16回／Class Outline Session 16	
【Compulsory】 授業計画 第17回／Class Outline Session 17	
【Compulsory】 授業計画 第18回／Class Outline Session 18	
【Compulsory】 授業計画 第19回／Class Outline Session 19	
【Compulsory】 授業計画 第20回／Class Outline Session 20	

【Compulsory】 授業計画 第21回/Class Outline Session 21					
【Compulsory】 授業計画 第22回/Class Outline Session 22					
【Compulsory】 授業計画 第23回/Class Outline Session 23					
【Compulsory】 授業計画 第24回/Class Outline Session 24					
【Compulsory】 授業計画 第25回/Class Outline Session 25					
【Compulsory】 授業計画 第26回/Class Outline Session 26					
【Compulsory】 授業計画 第27回/Class Outline Session 27					
【Compulsory】 授業計画 第28回/Class Outline Session 28					
授業計画 第29回/Class Outline Session 29					
授業計画 第30回/Class Outline Session 30					
授業計画 ※講義回毎の設定が難しい場合に設定して下さい/Class Overall Plan *Only complete if you cannot fill in the section above	1. イントロダクション 2. 卒業論文とは 3～5. 卒業論文テーマの発表 6～26. 卒業論文の中間発表 27. 卒業論文発表会 28. 全体のまとめ				
教科書/Textbook(s)	著者名/ author	タイトル/title	発行所/ publisher	出版年 /year	ISBN
参考書/Reference Materials	著者名/ author	タイトル/title	発行所/ publisher	出版年 /year	ISBN
【Compulsory】 成績評価/Evaluation Criteria /Method 評価種別は「定期試験、定期レポート、授業中試験、平常レポート、その他」のいずれかを指定してください。 種別に「その他」を指定した場合、必ず評価基準等を記載してください。 割合は、合計が100%になるようにしてください。	種別/ Type	割合/ Percentage	評価基準等 /Grading Criteria etc.		
	その他/ Others	100	卒業論文、授業での発表・議論、ゼミ活動に対する貢献などによる総合評価。		
備考/Note *within 1,300 words					
検索キーワード/Keywords *within 100 words	国際企業 企業研究 卒業論文作成				

講義名	研究演習 I	履修基準 年度	3年	担当者	古川 靖洋 (FURUKAWA YASUHIRO)
-----	--------	------------	----	-----	---------------------------

【Compulsory】 授業目的／Course Objectives *within 1,300 words	学生諸君がグループ研究を行なうことにより、文献やデータの収集方法、分析の進め方、論文の作成方法などを習得することができる。また、ケーススタディの手法を学習することにより、実践問題への理論の応用を習得することができる。
【Compulsory】 到達目標／Attainment Objectives *within 1,300 words	本演習科目の到達目標は以下の通りである。 1. 経営戦略論や経営管理論の基本的文献や先行研究の内容を理解することができる。 2. 多変量解析の具体的内容や分析手法を習得することができる。 3. グループ学習で扱う研究テーマを論理的に決定することができる。 4. 研究テーマに沿った先行研究を渉猟できる。 5. 研究テーマに沿った統計分析ができる。 6. 研究テーマの具体的内容を発表できる。
関連科目／Related Courses	企業行動論、プロジェクト評価論、経営戦略論、経営組織論
【Compulsory】 授業時間外の学習（準備学習等について）／Study Required Outside of Class (Preparation etc.) *within 1,300 words *サブゼミ等行う場合は明記してください。	自ら研究課題を見つけるように努力することを求めます。
【Compulsory】 授業計画 第1回／Class Outline Session 1	一年間のゼミ活動についてのガイダンス
【Compulsory】 授業計画 第2回／Class Outline Session 2	経営戦略論の基礎理論についての概説
【Compulsory】 授業計画 第3回／Class Outline Session 3	経営管理論の基礎理論についての概説
【Compulsory】 授業計画 第4回／Class Outline Session 4	経営組織論の基礎理論についての概説
【Compulsory】 授業計画 第5回／Class Outline Session 5	多変量解析その1：記述統計の意味、相関分析
【Compulsory】 授業計画 第6回／Class Outline Session 6	多変量解析その2：回帰分析、判別分析
【Compulsory】 授業計画 第7回／Class Outline Session 7	多変量解析その3：因子分析、クラスター分析
【Compulsory】 授業計画 第8回／Class Outline Session 8	多変量解析その4：一元配置分散分析、QAQF
【Compulsory】 授業計画 第9回／Class Outline Session 9	グループ研究に内容に関するガイダンス
【Compulsory】 授業計画 第10回／Class Outline Session 10	グループ研究の中間発表1回目(第1グループ)
【Compulsory】 授業計画 第11回／Class Outline Session 11	グループ研究の中間発表1回目(第2グループ)
【Compulsory】 授業計画 第12回／Class Outline Session 12	グループ研究の中間発表1回目(第3グループ)
【Compulsory】 授業計画 第13回／Class Outline Session 13	グループ研究の中間発表1回目(第4グループ)
【Compulsory】 授業計画 第14回／Class Outline Session 14	ケーススタディ1回目
【Compulsory】 授業計画 第15回／Class Outline Session 15	春学期のまとめ
【Compulsory】 授業計画 第16回／Class Outline Session 16	グループ研究の中間発表2回目(第1グループ)
【Compulsory】 授業計画 第17回／Class Outline Session 17	グループ研究の中間発表2回目(第2グループ)
【Compulsory】	グループ研究の中間発表2回目(第3グループ)

授業計画 第 18 回 / Class Outline Session 18					
【Compulsory】 授業計画 第 19 回 / Class Outline Session 19	グループ研究の中間発表 2 回目(第 4 グループ)				
【Compulsory】 授業計画 第 20 回 / Class Outline Session 20	グループ研究の中間発表 3 回目(第 1 グループ)				
【Compulsory】 授業計画 第 21 回 / Class Outline Session 21	グループ研究の中間発表 3 回目(第 2 グループ)				
【Compulsory】 授業計画 第 22 回 / Class Outline Session 22	グループ研究の中間発表 3 回目(第 3 グループ)				
【Compulsory】 授業計画 第 23 回 / Class Outline Session 23	グループ研究の中間発表 3 回目(第 4 グループ)				
【Compulsory】 授業計画 第 24 回 / Class Outline Session 24	リサーチフェアでの発表				
【Compulsory】 授業計画 第 25 回 / Class Outline Session 25	ケーススタディ 2 回目				
【Compulsory】 授業計画 第 26 回 / Class Outline Session 26	ケーススタディ 3 回目				
【Compulsory】 授業計画 第 27 回 / Class Outline Session 27	卒業論文のフレームワーク発表 1				
【Compulsory】 授業計画 第 28 回 / Class Outline Session 28	卒業論文のフレームワーク発表 2				
授業計画 第 29 回 / Class Outline Session 29	卒業論文のフレームワーク発表 3				
授業計画 第 30 回 / Class Outline Session 30	1 年間のまとめ				
授業計画 ※講義回毎の設定が難しい場合に設定して下さい / Class Overall Plan *Only complete if you cannot fill in the section above	<p>春学期：経営学に関する基礎理論、統計分析の手法を学ぶ。他に担当者からの指示で経営学検定の試験を受験する。</p> <p>夏合宿：グループ研究の中間発表</p> <p>秋学期：経営戦略や企業の社会的責任、企業倫理、コーポレート・ガバナンスの内容を扱った日本語・英語論文を輪読し、グループごとにプレゼンと議論を毎回行なう。リサーチフェアでの発表に備え、グループ研究を進め、内容をプレゼンし、議論を行なう。リサーチフェア後には、卒論テーマを決定する。</p>				
教科書 / Textbook(s)	著者名 / author	タイトル / title	発行所 / publisher	出版年 / year	ISBN
参考書 / Reference Materials	著者名 / author	タイトル / title	発行所 / publisher	出版年 / year	ISBN
【Compulsory】 成績評価 / Evaluation Criteria / Method	種別 / Type	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.		
評価種別は「定期試験、定期レポート、授業中試験、平常レポート、その他」のいずれかを指定してください。 種別に「その他」を指定した場合、必ず評価基準等を記載してください。 割合は、合計が 100%になるようにしてください。	定期試験に代わるレポート / Term paper to replace the final examination	20			

	その他／ Others	80	リサーチフェアでの研究報告 50%、議論への積極的な 参加 30%
備考／Note *within 1,300 words			
検索キーワード／Keywords *within 100 words			

講義名	研究演習 II	履修基準 年度	4年	担当者	古川 靖洋 (FURUKAWA YASUHIRO)
-----	---------	------------	----	-----	---------------------------

【Compulsory】 授業目的／Course Objectives *within 1,300 words	本演習科目の目的は、個々の学生諸君が卒業論文の中間発表を通して、論文のテーマを決め、内容をブラッシュアップし、論文を完成することである。
【Compulsory】 到達目標／Attainment Objectives *within 1,300 words	本演習科目の到達目標は以下の通りである。 1. 研究論文にふさわしいテーマを決めることができる。 2. 先行研究を渉猟し、その内容をまとめることができる。 3. 論理的体系的に論文をまとめることができる。 4. 論文の中で、何らかの新しい発見を見出すことができる。 5. 指定された形式に沿った論文を作成することができる。 6. 完成した論文の内容を報告することができる。
関連科目／Related Courses	
【Compulsory】 授業時間外の学習（準備学習等について）／Study Required Outside of Class (Preparation etc.) *within 1,300 words *サブゼミ等行う場合は明記してください。	各自の積極的な研究への取り組みを求める。
【Compulsory】 授業計画 第1回／Class Outline Session 1	各学生が、卒業論文のテーマを発表し、具体的に参考にする先行研究について検討する。
【Compulsory】 授業計画 第2回／Class Outline Session 2	卒業論文のテーマに沿った論文のフレームワークを発表・検討する。
【Compulsory】 授業計画 第3回／Class Outline Session 3	卒業論文の中間発表1回目その1：毎回3名、これを春学期秋学期続けて行なう。発表者はプレゼンのほかに質疑に回答することを必須とする。
【Compulsory】 授業計画 第4回／Class Outline Session 4	卒業論文の中間発表1回目その2：毎回3名、これを春学期秋学期続けて行なう。発表者はプレゼンのほかに質疑に回答することを必須とする。
【Compulsory】 授業計画 第5回／Class Outline Session 5	卒業論文の中間発表1回目その3：毎回3名、これを春学期秋学期続けて行なう。発表者はプレゼンのほかに質疑に回答することを必須とする。
【Compulsory】 授業計画 第6回／Class Outline Session 6	卒業論文の中間発表1回目その4：毎回3名、これを春学期秋学期続けて行なう。発表者はプレゼンのほかに質疑に回答することを必須とする。
【Compulsory】 授業計画 第7回／Class Outline Session 7	卒業論文の中間発表1回目その5：毎回2名、これを春学期秋学期続けて行なう。発表者はプレゼンのほかに質疑に回答することを必須とする。
【Compulsory】 授業計画 第8回／Class Outline Session 8	卒業論文の中間発表2回目その1：毎回2名、これを春学期秋学期続けて行なう。発表者はプレゼンのほかに質疑に回答することを必須とする。
【Compulsory】 授業計画 第9回／Class Outline Session 9	卒業論文の中間発表2回目その2：毎回2名、これを春学期秋学期続けて行なう。発表者はプレゼンのほかに質疑に回答することを必須とする。
【Compulsory】 授業計画 第10回／Class Outline Session 10	卒業論文の中間発表2回目その3：毎回2名、これを春学期秋学期続けて行なう。発表者はプレゼンのほかに質疑に回答することを必須とする。
【Compulsory】 授業計画 第11回／Class Outline Session 11	卒業論文の中間発表2回目その4：毎回2名、これを春学期秋学期続けて行なう。発表者はプレゼンのほかに質疑に回答することを必須とする。
【Compulsory】 授業計画 第12回／Class Outline Session 12	卒業論文の中間発表2回目その5：毎回2名、これを春学期秋学期続けて行なう。発表者はプレゼンのほかに質疑に回答することを必須とする。
【Compulsory】 授業計画 第13回／Class Outline Session 13	2回行なった卒業論文の中間発表の中で進捗が遅い学生の再発表を行なう。
【Compulsory】 授業計画 第14回／Class Outline Session 14	2回行なった卒業論文の中間発表の中で進捗が遅い学生の再発表を行なう。
【Compulsory】 授業計画 第15回／Class Outline Session 15	春学期のまとめ
【Compulsory】 授業計画 第16回／Class Outline Session 16	卒業論文の中間発表3回目その1：毎回3名、これを春学期秋学期続けて行なう。発表者はプレゼンのほかに質疑に回答することを必須とする。
【Compulsory】 授業計画 第17回／Class Outline Session 17	卒業論文の中間発表3回目その2：毎回3名、これを春学期秋学期続けて行なう。発表者はプレゼンのほかに質疑に回答することを必須とする。
【Compulsory】 授業計画 第18回／Class Outline Session 18	卒業論文の中間発表3回目その3：毎回3名、これを春学期秋学期続けて行なう。発表者はプレゼンのほかに質疑に回答することを必須とする。

【Compulsory】 授業計画 第19回／Class Outline Session 19	卒業論文の中間発表3回目その4：毎回3名、これを春学期秋学期続けて行なう。発表者はプレゼンのほかに質疑に回答することを必須とする。				
【Compulsory】 授業計画 第20回／Class Outline Session 20	卒業論文の中間発表3回目その5：毎回3名、これを春学期秋学期続けて行なう。発表者はプレゼンのほかに質疑に回答することを必須とする。				
【Compulsory】 授業計画 第21回／Class Outline Session 21	卒業論文の中間発表4回目その1：毎回3名、これを春学期秋学期続けて行なう。発表者はプレゼンのほかに質疑に回答することを必須とする。				
【Compulsory】 授業計画 第22回／Class Outline Session 22	卒業論文の中間発表4回目その2：毎回3名、これを春学期秋学期続けて行なう。発表者はプレゼンのほかに質疑に回答することを必須とする。				
【Compulsory】 授業計画 第23回／Class Outline Session 23	卒業論文の中間発表4回目その3：毎回2名、これを春学期秋学期続けて行なう。発表者はプレゼンのほかに質疑に回答することを必須とする。				
【Compulsory】 授業計画 第24回／Class Outline Session 24	卒業論文の中間発表4回目その4：毎回3名、これを春学期秋学期続けて行なう。発表者はプレゼンのほかに質疑に回答することを必須とする。				
【Compulsory】 授業計画 第25回／Class Outline Session 25	卒業論文の中間発表4回目その5：毎回3名、これを春学期秋学期続けて行なう。発表者はプレゼンのほかに質疑に回答することを必須とする。				
【Compulsory】 授業計画 第26回／Class Outline Session 26	行なった卒業論文の中間発表の中で進捗が遅い学生の再発表を行なう。				
【Compulsory】 授業計画 第27回／Class Outline Session 27	行なった卒業論文の中間発表の中で進捗が遅い学生の再発表を行なう。				
【Compulsory】 授業計画 第28回／Class Outline Session 28	行なった卒業論文の中間発表の中で進捗が遅い学生の再発表を行なう。				
授業計画 第29回／Class Outline Session 29	行なった卒業論文の中間発表の中で進捗が遅い学生の再発表を行なう。				
授業計画 第30回／Class Outline Session 30	提出した卒論の発表大会を行なう。				
授業計画 ※講義回毎の設定が難しい場合に設定して下さい／Class Overall Plan *Only complete if you cannot fill in the section above	各自のプレゼンとその内容についての議論				
教科書／Textbook(s)	著者名／author	タイトル／title	発行所／publisher	出版年／year	ISBN
参考書／Reference Materials	著者名／author	タイトル／title	発行所／publisher	出版年／year	ISBN
【Compulsory】 成績評価／Evaluation Criteria /Method 評価種別は「定期試験、定期レポート、授業中試験、平常レポート、その他」のいずれかを指定してください。 種別に「その他」を指定した場合、必ず評価基準等を記載してください。 割合は、合計が100%になるようにしてください。	種別／Type	割合／Percentage	評価基準等／Grading Criteria etc.		
	定期試験に代わるレポート／Term paper to replace the final examination	50	卒業論文自体の評価		
	その他／Others	50	発表内容に対する議論への貢献、プレゼンの状況によって評価します。		

備考／Note *within 1,300 words			
検索キーワード／Keywords *within 100 words			

講義名	研究演習 I	履修基準 年度	3年	担当者	村田 俊一 (MURATA SHUNICHI)
-----	--------	------------	----	-----	-------------------------

<p>【Compulsory】 授業目的／Course Objectives *within 1,300 words</p>	<p>講義の目的は、グローバル化が進む中で、貧富の差の拡大、国内の貧困問題、紛争問題の複雑性を国際的に従事している重要行為主体としての国連・国際機関、政府、NGO/NPO。民間、を中心にそれらの利害関係を分析し、問題解決の糸口となる政策決定と合意形成―実施・評価を詳解する基礎研究である。国際的な交渉の舞台では何が起きているのか、具体的なケースを取り上げて討論し、学生諸君は進級論文のテーマを決定し、作成する。応用としてケース・スタディーMethodを有効活用する。</p> <p>In this research semina</p>
<p>【Compulsory】 到達目標／Attainment Objectives *within 1,300 words</p>	<p>1. 一般教養としてグローバルな問題、特に国連システムと途上国の関係・現状を把握し、問題分析・リサーチ能力の高揚を進級論文に反映することができる。</p> <p>2. 発展政策理論・政策実施の知識高揚し、理論と実践のGAPを理解問題解決のシナリオを草案できる。</p> <p>3. プレゼン・コミュニケーション能力を改善し自己啓発を図る基礎を確立することができる。</p> <p>4. 進級論文の詳細な Outline・論文を作成する</p> <p>Note: 日本の地方創生推進に鑑み、地方公共団体の国際化、その人材育成が急務とされる中、地方の国際化の面も触れてみることにす</p>
<p>関連科目／Related Courses</p>	<p>総合政策入門、社会開発論、国際公共政策、政策科学、ジェンダー、国際機構論、国際法、国際協力論、経済発展論、人間開発、ミレニアム開発目標、持続可能な開発―Post 2015、国際法、ジェンダー論、組織論、国際協力論、等</p>
<p>【Compulsory】 授業時間外の学習（準備学習等について）／Study Required Outside of Class (Preparation etc.) *within 1,300 words *サブゼミ等行う場合は明記してください。</p>	<p>特にグループで、予習・復習は重要。プレゼン能力高揚も時間外で練習することを奨励。大学院 国連・外交コースを目大学院を指す学生は特別課外授業を設定する準備がある。英語での授業は毎月1回実施する予定。</p> <p>また、高大連携プロジェクト推進をするため、共同プロジェクトも実施する予定(興味のある学生は相談されたし)。</p> <p>毎回 ゼミ議事録を作成する。就職時、新入社員は例外なく会議の議事録を作成させられる由、その準備・練習とする。</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第1回／Class Outline Session 1</p>	<p>オリエンテーション：自己紹介と興味、コミュニケーションとグループ学習を通して相互理解と助け合い、等</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第2回／Class Outline Session 2</p>	<p>ゼミ運営に関して：議事録とその書き方。どのようなゼミにしたいか。そして何を学び取ろうとするのか。委員の選出と決定</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第3回／Class Outline Session 3</p>	<p>進化している開発・発展政策のマクロ理論体系：ミレニアム開発目標の視点：貧困問題は途上国に特化する問題か。</p> <p>3時間程度の予習・復習をする（グループ学習が効果的）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第4回／Class Outline Session 4</p>	<p>同上</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第5回／Class Outline Session 5</p>	<p>規範・政策・立案・実施・評価 とそのサイクル 政府開発援助と行為主体 3時間程度の予習・復習をする（グループ学習が効果的）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第6回／Class Outline Session 6</p>	<p>同上</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第7回／Class Outline Session 7</p>	<p>ミクロ開発理論：問題解決としてのプロジェクト形成とプロセス・コンサルテーション：参加型プロジェクトは効率的で効果的か？？ 3時間程度の予習・復習をする（グループ学習が効果的）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第8回／Class Outline Session 8</p>	<p>ケース：撃たれる前に逃げよ！ 技術移転のむずかしさ、複雑な人間関係、援助実践を通じて浮き彫りになる問題点。注意事項： ケースとテーマは変更する可能性もある。 3時間程度の予習・復習をする（グループ学習が効果的）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第9回／Class Outline Session 9</p>	<p>同上（討論・批評）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第10回／Class Outline Session 10</p>	<p>ケース：資源管理をめぐる紛争―フィリピン・ミンダナオ 行為主体の利害の対立と援助政策の方向性とは。</p>

	注意事項： ケースとテーマは変更する可能性もある。 3時間程度の予習・復習をする（グループ学習が効果的）				
【Compulsory】 授業計画 第11回／Class Outline Session 11	同上（討論・批評）				
【Compulsory】 授業計画 第12回／Class Outline Session 12	ケース：紛争後の開発と資源管理―「命がけの交渉術」 3時間程度の予習・復習をする（グループ学習が効果的） 注意事項： ケースとテーマは変更する可能性もある。				
【Compulsory】 授業計画 第13回／Class Outline Session 13	進級論文の概略作成とその発表				
【Compulsory】 授業計画 第14回／Class Outline Session 14	同上				
【Compulsory】 授業計画 第15回／Class Outline Session 15	課題研究：国際機関と規範（応用と実践編） 3時間程度の予習・復習をする（グループ学習が効果的）				
【Compulsory】 授業計画 第16回／Class Outline Session 16	同上（国際規範とルール作成：合意形成）				
【Compulsory】 授業計画 第17回／Class Outline Session 17	Off Campus 授業：東京お台場：グローバルフェスタ研修、等（期日は相談の上、決定）				
【Compulsory】 授業計画 第18回／Class Outline Session 18	課題研究：規範、実施、地政学的問題―SDG 開発目標と地域性（応用と実践編） 3時間程度の予習・復習をする（グループ学習が効果的）				
【Compulsory】 授業計画 第19回／Class Outline Session 19	同上（国家発展政策に反映される規範とは？その条件とは？）				
【Compulsory】 授業計画 第20回／Class Outline Session 20	ゲスト・スピーカー紹介				
【Compulsory】 授業計画 第21回／Class Outline Session 21	リサーチフェアの準備と発表練習				
【Compulsory】 授業計画 第22回／Class Outline Session 22	同上				
【Compulsory】 授業計画 第23回／Class Outline Session 23	緊急人道援助、復興開発援助、中長期的発展政策のサイクルと問題点：プロジェクトの種類・財源と行為主体の利害関係。 3時間程度の予習・復習をする（グループ学習が効果的）				
【Compulsory】 授業計画 第24回／Class Outline Session 24	同上				
【Compulsory】 授業計画 第25回／Class Outline Session 25	今まで学んできた、開発行政論は実社会で役に立つか。ゲスト・スピーカーの紹介・国連キャリアフォーラムに出席（振替授業、後日、感想文提出―相談の上、決定。）				
【Compulsory】 授業計画 第26回／Class Outline Session 26	進級論文 Outline・論文の発表 カウンセリングも含む				
【Compulsory】 授業計画 第27回／Class Outline Session 27	同上				
【Compulsory】 授業計画 第28回／Class Outline Session 28	研究演習 II の準備				
授業計画 第29回／Class Outline Session 29	同上				
授業計画 第30回／Class Outline Session 30	同上				
授業計画 ※講義回毎の設定が難しい場合に設定して下さい／Class Overall Plan *Only complete if you cannot fill in the section above					
教科書／Textbook(s)	著者名／author	タイトル／title	発行所／publisher	出版年／year	ISBN
	ジェンクスブルース（編）	グローバルビジョンと5つの課題？岐路に立つ国連開発	人間と歴史社	2015	9.78E+12
	SHUN-ICHI MURATA	JOURNEY OF A DEVELOPMENT WORKER	KG PRESS	2003	4907654472

参考書／Reference Materials	著者名／author	タイトル／title	発行所／publisher	出版年／year	ISBN
	元田 結花	知的実践としての開発援助：アジェンダの興亡を超えて	東京大学出版会	2007	9.78E+12
	小柏 葉子 編	IPSHU 研究報告シリーズ 35 号 pp. 47-67 「資源管理をめぐる紛争と予防と解決」	広島大学平和科学研究センター	2005	
	バーダック ユージン	政策立案の技法	東洋経済新報社	2012	9.78E+12
	田中由美子	「撃たれる前に逃げよ」FASID ケース I	国際開発高等教育機構		
	山口しのぶ 編	ケースで学ぶ国際開発	東進堂	2011	9.78E+12
【Compulsory】 成績評価／Evaluation Criteria /Method	種別／Type	割合／Percentage	評価基準等／Grading Criteria etc.		
評価種別は「 定期試験、定期レポート、授業中試験、平常レポート、その他 」のいずれかを指定してください。 種別に「 その他 」を指定した場合、必ず評価基準等を記載してください。 割合は、合計が 100%になるようにしてください。	その他／Others	100	30%発表内容、ゼミ貢献(運営・協力)30% 進級論文40%		
備考／Note *within 1,300 words	1 月には研究演習 I、研究演習 I I との合同合宿。4 月・5 月には社会見学、高大合同ゼミを企画している。				
検索キーワード／Keywords *within 100 words	開発政策、実施と評価。PCM 社会開発、人間開発、MDG s、SDG s 国連開発機関、ODA、プロセス・コンサルテーション、交渉、行為主体、利害関係、政策決定・合意形成、人道援助、復興援助				

講義名	研究演習 II	履修基準 年度	4年	担当者	村田 俊一 (MURATA SHUNICHI)
-----	---------	------------	----	-----	-------------------------

<p>【Compulsory】 授業目的／Course Objectives *within 1,300 words</p>	<p>本講義は、学生諸君が卒業論文内容を精査し、議論し、発表する。その上で、実社会での社会貢献の在り方やその方向性を研究演習 II で草案する。 英語でのプレゼンとコミュニケーションを訓練も実施する。 Based upon thorough coaching and counselling, students are to finalize thesis for graduation (in the process, drafting outlines, revisions, etc., would be advi</p>
<p>【Compulsory】 到達目標／Attainment Objectives *within 1,300 words</p>	<p>1. 卒業論文の概略、修正、完成させる 2. グループ学習を中心に、フィールド・ワーク、等 チームワークの重要性と目標達成に関連する手段を習得する。 Students undertake group research and to draft in writing quaity thesis. Trough this intensive process and training, students are to learn logical and coherent thesis writing.</p>
<p>関連科目／Related Courses</p>	<p>研究演習 I の関連科目プラス英語の文献 Relevant literatures of policy studies.</p>
<p>【Compulsory】 授業時間外の学習（準備学習等について）／Study Required Outside of Class (Preparation etc.) *within 1,300 words *サブゼミ等行う場合は明記してください。</p>	<p>大学院を目指す学生：特に国連・外交コースに興味のある学生は英語で補講を準備することも可。卒論に関連して、フィールド・ワークの指導や就職相談もカウンセリングの一環として、ゼミで取り組む予定。 筆者は、総合政策学部・開発キャラバン構想（実験プロジェクト）—地方創生と国際化というテーマで、関学の役割を模索している。国際化の行為主体はもはや、国家だけでなく、地方自治体や民間の人々によって推進されている。中でも NPO/NGOは開発途上国との関連において、創造的な協力活動を実施しているのも事実。市民交流を活発にする</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第 1 回／Class Outline Session 1</p>	<p>研究演習 I の復習と今後のゼミ運営、担当者の選出 議事録の作成（日英）のオリエンテーション</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第 2 回／Class Outline Session 2</p>	<p>「国際開発行政論」関連の文献を卒論と関連させ、論理的なプレゼンを毎回実施する。 関学図書館：関連のある修士論文の Review</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第 3 回／Class Outline Session 3</p>	<p>卒論参考文献の整理/Review とリサーチデザインのプレゼン（毎回 2－3 名で）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第 4 回／Class Outline Session 4</p>	<p>卒論参考文献の整理/Review とリサーチデザインのプレゼン（毎回 2－3 名で）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第 5 回／Class Outline Session 5</p>	<p>卒論参考文献の整理/Review とリサーチデザインのプレゼン（毎回 2－3 名で）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第 6 回／Class Outline Session 6</p>	<p>卒論参考文献の整理/Review とリサーチデザインのプレゼン（毎回 2－3 名で）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第 7 回／Class Outline Session 7</p>	<p>卒論参考文献の整理/Review とリサーチデザインのプレゼン（毎回 2－3 名で）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第 8 回／Class Outline Session 8</p>	<p>卒論参考文献の整理/Review とリサーチデザインのプレゼン（毎回 2－3 名で）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第 9 回／Class Outline Session 9</p>	<p>卒論参考文献の整理/Review とリサーチデザインのプレゼン（毎回 2－3 名で）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第 10 回／Class Outline Session 10</p>	<p>卒論参考文献の整理/Review とリサーチデザインのプレゼン（毎回 2－3 名で）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第 11 回／Class Outline Session 11</p>	<p>卒論参考文献の整理/Review とリサーチデザインのプレゼン（毎回 2－3 名で）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第 12 回／Class Outline Session 12</p>	<p>卒論参考文献の整理/Review とリサーチデザインのプレゼン（毎回 2－3 名で）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第 13 回／Class Outline Session 13</p>	<p>卒論参考文献の整理/Review とリサーチデザインのプレゼン（毎回 2－3 名で）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第 14 回／Class Outline Session 14</p>	<p>卒論参考文献の整理/Review とリサーチデザインのプレゼン（毎回 2－3 名で）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第 15 回／Class Outline Session 15</p>	<p>卒論参考文献の整理/Review とリサーチデザインのプレゼン（毎回 2－3 名で）</p>

【Compulsory】 授業計画 第 16 回 / Class Outline Session 16	卒論中間発表				
【Compulsory】 授業計画 第 17 回 / Class Outline Session 17	卒論中間発表				
【Compulsory】 授業計画 第 18 回 / Class Outline Session 18	卒論中間発表				
【Compulsory】 授業計画 第 19 回 / Class Outline Session 19	卒論中間発表				
【Compulsory】 授業計画 第 20 回 / Class Outline Session 20	卒論中間発表				
【Compulsory】 授業計画 第 21 回 / Class Outline Session 21	卒論中間発表				
【Compulsory】 授業計画 第 22 回 / Class Outline Session 22	卒論中間発表				
【Compulsory】 授業計画 第 23 回 / Class Outline Session 23	組織のプロセス・コンサルテーションと交渉				
【Compulsory】 授業計画 第 24 回 / Class Outline Session 24	組織のプロセス・コンサルテーションと交渉				
【Compulsory】 授業計画 第 25 回 / Class Outline Session 25	卒論プレゼン				
【Compulsory】 授業計画 第 26 回 / Class Outline Session 26	卒論プレゼン				
【Compulsory】 授業計画 第 27 回 / Class Outline Session 27	卒論プレゼン				
【Compulsory】 授業計画 第 28 回 / Class Outline Session 28	ゼミ総括・カウンセリング				
授業計画 第 29 回 / Class Outline Session 29	ゼミ総括・カウンセリング				
授業計画 第 30 回 / Class Outline Session 30	進学・就職カウンセリング				
授業計画 ※講義回毎の設定が難しい場合に設定して下さい / Class Overall Plan *Only complete if you cannot fill in the section above					
教科書 / Textbook(s)	著者名 / author	タイトル / title	発行所 / publisher	出版年 / year	ISBN
参考書 / Reference Materials	著者名 / author	タイトル / title	発行所 / publisher	出版年 / year	ISBN
【Compulsory】 成績評価 / Evaluation Criteria / Method 評価種別は「定期試験、定期レポート、授業中試験、平常レポート、その他」のいずれかを指定してください。 種別に「その他」を指定した場合、必ず評価基準等を記載してください。 割合は、合計が 100% になるようにしてください。	種別 / Type	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.		
	その他 / Others	100	成績評価備考欄を参照卒業論文の内容 60% ゼミ参加・貢献度 議事録内容 研究発表 (リサーチフェア) 40%		

備考／Note *within 1,300 words	フィールド・ワークは必要に応じて相談。
検索キーワード／Keywords *within 100 words	開発政策、実施と評価。PCM 社会開発、人間開発、MDG s、SDG s 国連開発機関、ODA、プロセス・コンサルテーション、交渉、行為主体、利害関係、政策決定・合意形成、人道援助、復興援助、中長期的援

講義名	研究演習 I	履修基準 年度	3年	担当者	西野 桂子 (NISHINO KEIKO)
-----	--------	------------	----	-----	-----------------------

<p>【Compulsory】 授業目的／Course Objectives *within 1,300 words</p>	<p>本ゼミの目的は、学生が「国際協力とは何か」ということを理論と実践面から研究することにある。国際協力には、様々な分野（ガバナンス、貧困、教育、保健・医療、農業・農村開発、ジェンダー・少数民族など）があり、様々なアクター（国際機関、政府機関、NPO、企業など）が関与している。3年次は、PCM（プロジェクト・サイクル・マネジメント）手法などの分析枠組みと主要分野の理解促進、フィールドワークによる途上国の現状分析などを中心に進めていく。</p>
<p>【Compulsory】 到達目標／Attainment Objectives *within 1,300 words</p>	<p>1) フィリピンという事例を通じ、その国を理解するための各分野（政治・ガバナンス、経済・貧困、教育、保健・医療、農業・農村開発、ジェンダー・少数民族等）を説明できるようになる。 2) ソーシャルビジネスの概念を理解し、ビジネスの手法でどのような課題を解決しようとしているのかを説明できるようになる。 3) PCM 手法の問題分析・目的分析を活用し、問題の因果関係を説明できるようになる。 4) フィリピンのフィールドワークを通じ、農村調査やインタビューができるようになる。</p>
<p>関連科目／Related Courses</p>	<p>グローバルキャリアデザイン、国際関係論、国際発展政策、国際貿易と通貨、国際関係論、国際政治学など</p>
<p>【Compulsory】 授業時間外の学習（準備学習等について）／Study Required Outside of Class (Preparation etc.) *within 1,300 words *サブゼミ等行う場合は明記してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 春休み中に進級論文のテーマを考えておくこと。 ● 国際関係に常に関心を持ち、新聞を読むこと。 ● 与えられたテーマに関して調査・分析を行い、プレゼンの準備をすること。 ● 夏季事前研修（フィールドワーク直前の1～2日）に参加すること。 ● フィリピンフィールドワーク（9月）と東京研修（10月）に参加すること。 ● リサーチフェア（11月）で発表すること。（グループまたは個人）
<p>【Compulsory】 授業計画 第1回／Class Outline Session 1</p>	<p>イントロダクション、自己紹介、進級論文（個人研究）の進め方、目標設定など。</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第2回／Class Outline Session 2</p>	<p>フィリピンの政治とガバナンス（政治担当グループの発表とディスカッション） 論文の書き方（1）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第3回／Class Outline Session 3</p>	<p>フィリピンの経済と貧困（経済担当グループの発表とディスカッション） 論文の書き方（2）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第4回／Class Outline Session 4</p>	<p>先輩からのメッセージ（卒業生を交えた3回生・4回生の合同ゼミ）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第5回／Class Outline Session 5</p>	<p>フィリピンの教育（教育担当グループの発表とディスカッション） 論文の書き方（3）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第6回／Class Outline Session 6</p>	<p>フィリピンの保健・医療（保健・医療担当グループの発表とディスカッション） 論文の書き方（4）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第7回／Class Outline Session 7</p>	<p>フィリピンの農業・農村開発（農業・農村開発担当グループの発表とディスカッション） 海外経験の発表（1）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第8回／Class Outline Session 8</p>	<p>フィリピンの社会、宗教、民族、カースト、ジェンダー（社会問題担当グループの発表とディスカッション） 海外経験の発表（2）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第9回／Class Outline Session 9</p>	<p>ソーシャルビジネスの概要（講義）と対象地域、プロジェクトの理解</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第10回／Class Outline Session 10</p>	<p>対象地域、プロジェクトの理解</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第11回／Class Outline Session 11</p>	<p>プロジェクトサイクルマネジメント（PCM）手法を用いた各分野の問題分析</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第12回／Class Outline Session 12</p>	<p>調査準備・質問票の作成（訪問予定の農村でどのような調査研究・地域貢献を行うかの検討）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第13回／Class Outline Session 13</p>	<p>調査準備・質問票の作成（訪問予定の農村でどのような調査研究・地域貢献を行うかの検討）</p>
<p>【Compulsory】</p>	<p>春学期の振り返りと進級論文の節建て発表・提出</p>

授業計画 第14回/Class Outline Session 14					
【Compulsory】 授業計画 第15回/Class Outline Session 15	後期スケジュールの確認・課題研究の進め方・東京研修の準備				
【Compulsory】 授業計画 第16回/Class Outline Session 16	リサフェ先行研究確認・開発課題研究（貧困対策）				
【Compulsory】 授業計画 第17回/Class Outline Session 17	リサフェテーマの問題分析・開発課題研究（教育政策）4回生と合同演習				
【Compulsory】 授業計画 第18回/Class Outline Session 18	リサフェテーマの目的分析・開発課題研究（保健政策）4回生と合同演習				
【Compulsory】 授業計画 第19回/Class Outline Session 19	リサフェ提案の選択範囲・開発課題研究（農業・農村開発）4回生と合同演習				
【Compulsory】 授業計画 第20回/Class Outline Session 20	新月祭				
【Compulsory】 授業計画 第21回/Class Outline Session 21	リサフェ発表練習①・開発課題研究（インフラ開発）				
【Compulsory】 授業計画 第22回/Class Outline Session 22	リサフェ発表練習②・開発課題研究（ガバナンス）				
【Compulsory】 授業計画 第23回/Class Outline Session 23	開発プロジェクトと評価				
【Compulsory】 授業計画 第24回/Class Outline Session 24	グローバルキャリアデザイン（卒業後のライフデザインと自己分析）				
【Compulsory】 授業計画 第25回/Class Outline Session 25	グローバルキャリアデザイン（自己アピールと面接の仕方）				
【Compulsory】 授業計画 第26回/Class Outline Session 26	進級論文発表とピアレビュー				
【Compulsory】 授業計画 第27回/Class Outline Session 27	進級論文発表とピアレビュー				
【Compulsory】 授業計画 第28回/Class Outline Session 28	進級論文の最終レビュー（卒業研究に向けて）				
授業計画 第29回/Class Outline Session 29					
授業計画 第30回/Class Outline Session 30					
授業計画 ※講義回毎の設定が難しい場合に設定して下さい/Class Overall Plan *Only complete if you cannot fill in the section above					
教科書/Textbook(s)	著者名/ author	タイトル/title	発行所/ publisher	出版年 /year	ISBN
参考書/Reference Materials	著者名/ author	タイトル/title	発行所/ publisher	出版年 /year	ISBN
	大坪 滋 他編	国際開発学入門	勁草書房	2011	987-432650327 8
	勝間 靖 編	テキスト国際開発論	ミネルヴァ 書房	2012	978-462306139 6
		授業中に配布			
【Compulsory】 成績評価/Evaluation Criteria /Method	種別/ Type	割合/ Percentage	評価基準等 /Grading Criteria etc.		
	定期試験 に代わる	60	進級論文およびプレゼンテーション		
評価種別は「定期試験、定期レポート、授業中試					

験、平常レポート、その他」のいずれかを指定してください。 種別に「 その他 」を指定した場合、必ず評価基準等を記載してください。 割合は、合計が100%になるようにしてください。	レポート ／ Term paper to replace the final examina tion		
	その他／ Others	40	授業内発表、フィールドワーク、ゼミ活動への貢献等
備考／Note *within 1,300 words	海外フィールドワークと東京研修は原則全員参加を求めます。海外フィールドワークに10万円、東京研修に2万円程度の自己負担が派生します。内容によっては、4回生と合同で授業を行うことがあります。		
検索キーワード／Keywords *within 100 words	国際協力, 開発援助, ODA, 貧困対策, プロジェクト・サイクル・マネージメント (PCM), ガバナンス, 教育, 保健・医療, 農業・農村開発,		

講義名	研究演習 II	履修基準 年度	4年	担当者	西野 桂子 (NISHINO KEIKO)
-----	---------	------------	----	-----	-----------------------

【Compulsory】 授業目的／Course Objectives *within 1,300 words	本ゼミの前半は、BOP・ソーシャルビジネスの研究、後半は卒業兼研究を中心に行うことにより、卒業後の進路に関らず、世界市民に求められる国際感覚と知識を学生が習得することを目的とする。
【Compulsory】 到達目標／Attainment Objectives *within 1,300 words	1) BOP ビジネス・ソーシャルビジネスを理解し、ビジネスプランを策定できるようになる。 2) 開発課題の重要テーマに関してディベートができるようになる。 3) 卒業研究を行い、論文を執筆できる。
関連科目／Related Courses	
【Compulsory】 授業時間外の学習（準備学習等について）／Study Required Outside of Class (Preparation etc.) *within 1,300 words *サブゼミ等行う場合は明記してください。	<ul style="list-style-type: none"> ● 春休み中に卒業研究のテーマを絞り込み、先行研究をリサーチしておくこと。 ● 国際関係に常に関心を持ち、新聞を読むこと。 ● 与えられたテーマに関して調査・分析を行い、プレゼンの準備をすること。
【Compulsory】 授業計画 第1回／Class Outline Session 1	イントロダクション、グループ分け、卒業論文のテーマ発表。
【Compulsory】 授業計画 第2回／Class Outline Session 2	概念整理（BOP・ソーシャルビジネスなど）
【Compulsory】 授業計画 第3回／Class Outline Session 3	事例研究（1）グラミン銀行
【Compulsory】 授業計画 第4回／Class Outline Session 4	事例研究（2）グラミン・ヴォリアウォーター
【Compulsory】 授業計画 第5回／Class Outline Session 5	事例研究（3）日本ポリグル
【Compulsory】 授業計画 第6回／Class Outline Session 6	事例研究（4）ユニリーバー
【Compulsory】 授業計画 第7回／Class Outline Session 7	事例研究（5）国際機関の取組み
【Compulsory】 授業計画 第8回／Class Outline Session 8	ビジネスプランの作り方（1）事業コンセプト
【Compulsory】 授業計画 第9回／Class Outline Session 9	ビジネスプランの作り方（2）発表
【Compulsory】 授業計画 第10回／Class Outline Session 10	ビジネスプランの作り方（3）マーケティング
【Compulsory】 授業計画 第11回／Class Outline Session 11	ビジネスプランの作り方（4）事業計画書
【Compulsory】 授業計画 第12回／Class Outline Session 12	ビジネスプランの作り方（5）発表
【Compulsory】 授業計画 第13回／Class Outline Session 13	卒論のアウトライン（節立て）発表とディスカッション
【Compulsory】 授業計画 第14回／Class Outline Session 14	卒論のアウトライン（節立て）発表とディスカッション
【Compulsory】 授業計画 第15回／Class Outline Session 15	卒論研究進捗状況発表
【Compulsory】 授業計画 第16回／Class Outline Session 16	卒論研究進捗状況発表
【Compulsory】 授業計画 第17回／Class Outline Session 17	リサフェテーマの問題分析・開発課題研究（教育政策）3回生と合同演習
【Compulsory】 授業計画 第18回／Class Outline Session 18	リサフェテーマの目的分析・開発課題研究（保健政策）3回生と合同演習
【Compulsory】 授業計画 第19回／Class Outline Session 19	リサフェ提案の選択範囲・開発課題研究（農業・農村開発）3回生と合同演習
【Compulsory】	新月祭

授業計画 第 20 回／Class Outline Session 20					
【Compulsory】 授業計画 第 21 回／Class Outline Session 21	開発課題研究に関するディベート（テーマは、学生と相談の上決定）				
【Compulsory】 授業計画 第 22 回／Class Outline Session 22	開発課題研究に関するディベート（テーマは、学生と相談の上決定）				
【Compulsory】 授業計画 第 23 回／Class Outline Session 23	卒業論文指導				
【Compulsory】 授業計画 第 24 回／Class Outline Session 24	卒業論文指導				
【Compulsory】 授業計画 第 25 回／Class Outline Session 25	体裁の最終確認（グループワーク）				
【Compulsory】 授業計画 第 26 回／Class Outline Session 26	体裁の最終確認（グループワーク）				
【Compulsory】 授業計画 第 27 回／Class Outline Session 27	卒業論文発表会				
【Compulsory】 授業計画 第 28 回／Class Outline Session 28	卒業論文発表会				
授業計画 第 29 回／Class Outline Session 29					
授業計画 第 30 回／Class Outline Session 30					
授業計画 ※講義回毎の設定が難しい場合に設定して下さい／Class Overall Plan *Only complete if you cannot fill in the section above					
教科書／Textbook(s)	著者名／author	タイトル／title	発行所／publisher	出版年／year	ISBN
		授業中に配布			
参考書／Reference Materials	著者名／author	タイトル／title	発行所／publisher	出版年／year	ISBN
		授業中に配布			
【Compulsory】 成績評価／Evaluation Criteria /Method	種別／Type	割合／Percentage	評価基準等／Grading Criteria etc.		
	その他／Others	100	授業内発表等		
備考／Note *within 1,300 words	英語でのプレゼンやディスカッションを求めます。外部講師の都合に合わせて、授業計画が前後することがあります。3 回生と合同で授業を行うことがあります。				
検索キーワード／Keywords *within 100 words	国際協力, 開発援助, 貧困対策, 開発とビジネス 平和構築、環境政策、国際保健,				

講義名	研究演習 I	履修基準 年度	3 年	担当者	坂口 勝一 (SAKAGUCHI MASAKAZU)
-----	--------	------------	-----	-----	----------------------------

【Compulsory】 授業目的／Course Objectives *within 1,300 words	本演習の目的は、学生諸君が、国際経済（開発、貿易、国際金融）の分野における主要な問題・政策課題（発展途上国の開発・貧困削減・SDGs、米トランプ政権の貿易政策とアベノミクス、TPP 問題と日本の農業、中国経済の発展とチャイナリスク、ユーロ問題、英国のEU離脱など）を調査・研究することにより、現在の国際経済の諸問題を考えるにあたって有用な基礎理論や政策論を理解することである。
【Compulsory】 到達目標／Attainment Objectives *within 1,300 words	国際経済の分野における主要な問題について政策議論ができる知識と能力を習得している。
関連科目／Related Courses	
【Compulsory】 授業時間外の学習（準備学習等について）／Study Required Outside of Class (Preparation etc.) *within 1,300 words *サブゼミ等行う場合は明記してください。	国際経済問題に日頃から関心を持って、関連の記事や文献によく目を通しておくこと。ミクロ・マクロ経済学の基礎を習得しておくことが望ましい。
【Compulsory】 授業計画 第 1 回／Class Outline Session 1	
【Compulsory】 授業計画 第 2 回／Class Outline Session 2	
【Compulsory】 授業計画 第 3 回／Class Outline Session 3	
【Compulsory】 授業計画 第 4 回／Class Outline Session 4	
【Compulsory】 授業計画 第 5 回／Class Outline Session 5	
【Compulsory】 授業計画 第 6 回／Class Outline Session 6	
【Compulsory】 授業計画 第 7 回／Class Outline Session 7	
【Compulsory】 授業計画 第 8 回／Class Outline Session 8	
【Compulsory】 授業計画 第 9 回／Class Outline Session 9	
【Compulsory】 授業計画 第 10 回／Class Outline Session 10	
【Compulsory】 授業計画 第 11 回／Class Outline Session 11	
【Compulsory】 授業計画 第 12 回／Class Outline Session 12	
【Compulsory】 授業計画 第 13 回／Class Outline Session 13	
【Compulsory】 授業計画 第 14 回／Class Outline Session 14	
【Compulsory】 授業計画 第 15 回／Class Outline Session 15	
【Compulsory】 授業計画 第 16 回／Class Outline Session 16	
【Compulsory】 授業計画 第 17 回／Class Outline Session 17	
【Compulsory】 授業計画 第 18 回／Class Outline Session 18	
【Compulsory】	

授業計画 第 19 回／Class Outline Session 19																
【Compulsory】																
授業計画 第 20 回／Class Outline Session 20																
【Compulsory】																
授業計画 第 21 回／Class Outline Session 21																
【Compulsory】																
授業計画 第 22 回／Class Outline Session 22																
【Compulsory】																
授業計画 第 23 回／Class Outline Session 23																
【Compulsory】																
授業計画 第 24 回／Class Outline Session 24																
【Compulsory】																
授業計画 第 25 回／Class Outline Session 25																
【Compulsory】																
授業計画 第 26 回／Class Outline Session 26																
【Compulsory】																
授業計画 第 27 回／Class Outline Session 27																
【Compulsory】																
授業計画 第 28 回／Class Outline Session 28																
授業計画 第 29 回／Class Outline Session 29																
授業計画 第 30 回／Class Outline Session 30																
授業計画 ※講義回毎の設定が難しい場合に設定して下さい／Class Overall Plan *Only complete if you cannot fill in the section above	<p>【春学期】</p> <p>第 1 回：オリエンテーションとして、国際経済の諸問題を概観するとともに、ゼミ全体の研究テーマ、各ゼミ生の研究テーマの選択、ゼミの進め方などについて討議する。</p> <p>第 2 回～第 1 4 回：以下を適宜組み合わせて進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ゼミ生・教員が適宜選択する国際経済の分野の主要なテーマについて、関連文献・資料・情報等を活用して予習し、ゼミで質疑・討議を行う。(2018年度は、「なぜ貧しい国はなくなるのか」「グローバリゼーションと自由貿易と経済成長と格差と貧困削減」「これからの国際協力」「TPP と AIIB」「フィリピン」などの問題について学習し、質疑・討議を行った。) ●国際経済の基礎学力習得のため、基本テキストや参考文献を通読・参照しつつ主要な問題について教員・ゼミ生間で質疑・討議を行う。 ●リサーチフェアでの発表テーマを決め準備を進める。(2018年度は、「中国人民元の国際化」チーム、「女性活躍社会の実現にむけて」チーム、「日本とスウェーデンの社会保障制度」チームの3チームがリサーチフェアに参加予定。) <p>【夏休み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ゼミ生の希望も踏まえ、国際経済を学習するうえで有用な学外活動を実施する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 東京研修(国際金融・貿易・開発に携わっている官庁、政府関係機関、民間企業、国際機関などを訪問し、担当者との質疑等を通して国際業務の最前線を学習する。) 2) フィリピン・マニラ研修(アジア開発銀行本部、同行実施の貧困削減プロジェクト、在マニラNGO実施プロジェクト、などを訪問視察し、開発・貧困削減支援の現場を体験学習する。) <p>【秋学期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各自、各グループが選択した研究テーマにつきさらに焦点を絞り掘り下げて学習する。 ●リサーチフェアでの発表の準備を進める。 ●進級論文作成のための研究を進める。(12月初旬に各ゼミ生の進級論文ドラフトについての検討会をゼミ全体で行う。) 															
教科書／Textbook(s)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者名／author</th> <th>タイトル／title</th> <th>発行所／publisher</th> <th>出版年／year</th> <th>ISBN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸堂康之</td> <td>開発経済学入門</td> <td>創世社</td> <td>2015</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中兼和津次</td> <td>開発経済学と現代中国</td> <td>名古屋大学出版会</td> <td>2012</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	著者名／author	タイトル／title	発行所／publisher	出版年／year	ISBN	戸堂康之	開発経済学入門	創世社	2015		中兼和津次	開発経済学と現代中国	名古屋大学出版会	2012	
著者名／author	タイトル／title	発行所／publisher	出版年／year	ISBN												
戸堂康之	開発経済学入門	創世社	2015													
中兼和津次	開発経済学と現代中国	名古屋大学出版会	2012													

参考書／Reference Materials	著者名／ author	タイトル／title	発行所／ publisher	出版年 ／year	ISBN
	勝悦子	新しい国際金融論	有斐閣	2011	978-4-641-1633 3-1
	石川城太 他	国際経済学をつかむ 【第2版】	有斐閣	2013	978-4-641-1771 9-2
【Compulsory】 成績評価／Evaluation Criteria /Method	種別／ Type	割合／ Percentage	評価基準等 /Grading Criteria etc.		
評価種別は「 定期試験、定期レポート、授業中試験、平常レポート、その他 」のいずれかを指定してください。	その他／ Others	100	進級論文並びに報告・プレゼン・討議等による演習への貢献、各種課題への取り組み等を総合判断する		
種別に「 その他 」を指定した場合、必ず評価基準等を記載してください。					
割合は、合計が100%になるようにしてください。					
備考／Note *within 1,300 words					
検索キーワード／Keywords *within 100 words	Inclusive Growth SDGs 中所得国の罫 チャイナリスク アベノミクス トランプ政権の貿易政策 英国のEU離脱 アジア経済統合 国家破綻 IMF				

講義名	研究演習 II	履修基準 年度	4年	担当者	坂口 勝一 (SAKAGUCHI MASAKAZU)
-----	---------	------------	----	-----	----------------------------

【Compulsory】 授業目的／Course Objectives *within 1,300 words	本演習の目的は、学生諸君が、国際経済（開発、貿易、国際金融）の分野における主要な問題や政策課題（発展途上国の開発・貧困削減・SDGs、米トランプ政権の貿易政策とアベノミクス、TPP 問題と日本の農業、中国経済の発展とチャイナリスク、ユーロ問題、英国のEU離脱など）を調査・研究することにより、現在の国際経済の諸問題を考えるにあたって有用な基礎理論や政策論を理解することである。
【Compulsory】 到達目標／Attainment Objectives *within 1,300 words	国際経済の主要な問題について政策論議ができる知識と能力を習得している。
関連科目／Related Courses	
【Compulsory】 授業時間外の学習（準備学習等について）／Study Required Outside of Class (Preparation etc.) *within 1,300 words *サブゼミ等行う場合は明記してください。	常に国際経済問題の動向には関心を持ち、関連の記事や資料・文献には目を通すこと。
【Compulsory】 授業計画 第1回／Class Outline Session 1	
【Compulsory】 授業計画 第2回／Class Outline Session 2	
【Compulsory】 授業計画 第3回／Class Outline Session 3	
【Compulsory】 授業計画 第4回／Class Outline Session 4	
【Compulsory】 授業計画 第5回／Class Outline Session 5	
【Compulsory】 授業計画 第6回／Class Outline Session 6	
【Compulsory】 授業計画 第7回／Class Outline Session 7	
【Compulsory】 授業計画 第8回／Class Outline Session 8	
【Compulsory】 授業計画 第9回／Class Outline Session 9	
【Compulsory】 授業計画 第10回／Class Outline Session 10	
【Compulsory】 授業計画 第11回／Class Outline Session 11	
【Compulsory】 授業計画 第12回／Class Outline Session 12	
【Compulsory】 授業計画 第13回／Class Outline Session 13	
【Compulsory】 授業計画 第14回／Class Outline Session 14	
【Compulsory】 授業計画 第15回／Class Outline Session 15	
【Compulsory】 授業計画 第16回／Class Outline Session 16	
【Compulsory】 授業計画 第17回／Class Outline Session 17	
【Compulsory】 授業計画 第18回／Class Outline Session 18	
【Compulsory】	

授業計画 第 19 回 / Class Outline Session 19					
【Compulsory】					
授業計画 第 20 回 / Class Outline Session 20					
【Compulsory】					
授業計画 第 21 回 / Class Outline Session 21					
【Compulsory】					
授業計画 第 22 回 / Class Outline Session 22					
【Compulsory】					
授業計画 第 23 回 / Class Outline Session 23					
【Compulsory】					
授業計画 第 24 回 / Class Outline Session 24					
【Compulsory】					
授業計画 第 25 回 / Class Outline Session 25					
【Compulsory】					
授業計画 第 26 回 / Class Outline Session 26					
【Compulsory】					
授業計画 第 27 回 / Class Outline Session 27					
【Compulsory】					
授業計画 第 28 回 / Class Outline Session 28					
授業計画 第 29 回 / Class Outline Session 29					
授業計画 第 30 回 / Class Outline Session 30					
授業計画 ※講義回毎の設定が難しい場合に設定して下さい / Class Overall Plan *Only complete if you cannot fill in the section above	<ul style="list-style-type: none"> ●国の発展戦略を学習研究する。各ゼミ生が特定の国を選択し、その国が今後成長・発展していくための政策課題や発展戦略を研究する。 ●国際経済の分野における現在の主要な政策問題（トランプ大統領の貿易政策、サックス・イースタリー論争、SDGs の実施、英国の EU 離脱など）を取り上げディベート/ディスカッションを行う。 				
教科書 / Textbook(s)	著者名 / author	タイトル / title	発行所 / publisher	出版年 / year	ISBN
参考書 / Reference Materials	著者名 / author	タイトル / title	発行所 / publisher	出版年 / year	ISBN
【Compulsory】 成績評価 / Evaluation Criteria / Method	種別 / Type	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.		
	その他 / Others	100	報告・プレゼン・討議などによる演習への貢献、各種課題への取り組み等を総合判断する。		
評価種別は「定期試験、定期レポート、授業中試験、平常レポート、その他」のいずれかを指定してください。 種別に「その他」を指定した場合、必ず評価基準等を記載してください。 割合は、合計が 100%になるようにしてください。					
備考 / Note					
*within 1,300 words					
検索キーワード / Keywords	Inclusive Growth SDGs 中所得国の罫 チャイナリスク アベノミクス トランプ政権の貿易政策 英国の EU 離脱 アジア経済統合 国家破綻 IMF				
*within 100 words					

講義名	研究演習 I	履修基準 年度	3年	担当者	園田 明子 (SONODA AKIKO)
-----	--------	------------	----	-----	----------------------

【Compulsory】 授業目的／Course Objectives *within 1,300 words	履修生が、(1) 現代国際社会の特徴の一つとして国際機構の組織的・機能的発展について分析検討し、(2) 卒業論文の準備段階として、基本的な調査研究の手法を習得することが、本演習の目的である。
【Compulsory】 到達目標／Attainment Objectives *within 1,300 words	履修生が、(1) 国際機構の研究に不可欠な基本概念を学び、(2) リサーチフェアで研究発表を行うことにより、(3) 研究方法(文献調査、発表・質疑応答、論文作成)を習得し、(4) 進級論文を提出すること。
関連科目／Related Courses	国際法、国際機構論、を必ず履修すること。
【Compulsory】 授業時間外の学習(準備学習等について)／Study Required Outside of Class (Preparation etc.) *within 1,300 words *サブゼミ等行う場合は明記してください。	授業準備のためのグループワーク(復習・予習)に参加すること。 課題を必ず行い、発表・提出すること。 サブゼミを「火曜日・6時限」に行う。
【Compulsory】 授業計画 第1回／Class Outline Session 1	
【Compulsory】 授業計画 第2回／Class Outline Session 2	
【Compulsory】 授業計画 第3回／Class Outline Session 3	
【Compulsory】 授業計画 第4回／Class Outline Session 4	
【Compulsory】 授業計画 第5回／Class Outline Session 5	
【Compulsory】 授業計画 第6回／Class Outline Session 6	
【Compulsory】 授業計画 第7回／Class Outline Session 7	
【Compulsory】 授業計画 第8回／Class Outline Session 8	
【Compulsory】 授業計画 第9回／Class Outline Session 9	
【Compulsory】 授業計画 第10回／Class Outline Session 10	
【Compulsory】 授業計画 第11回／Class Outline Session 11	
【Compulsory】 授業計画 第12回／Class Outline Session 12	
【Compulsory】 授業計画 第13回／Class Outline Session 13	
【Compulsory】 授業計画 第14回／Class Outline Session 14	
【Compulsory】 授業計画 第15回／Class Outline Session 15	
【Compulsory】 授業計画 第16回／Class Outline Session 16	
【Compulsory】 授業計画 第17回／Class Outline Session 17	
【Compulsory】 授業計画 第18回／Class Outline Session 18	
【Compulsory】 授業計画 第19回／Class Outline Session 19	
【Compulsory】 授業計画 第20回／Class Outline Session 20	

【Compulsory】 授業計画 第21回／Class Outline Session 21																										
【Compulsory】 授業計画 第22回／Class Outline Session 22																										
【Compulsory】 授業計画 第23回／Class Outline Session 23																										
【Compulsory】 授業計画 第24回／Class Outline Session 24																										
【Compulsory】 授業計画 第25回／Class Outline Session 25																										
【Compulsory】 授業計画 第26回／Class Outline Session 26																										
【Compulsory】 授業計画 第27回／Class Outline Session 27																										
【Compulsory】 授業計画 第28回／Class Outline Session 28																										
授業計画 第29回／Class Outline Session 29																										
授業計画 第30回／Class Outline Session 30																										
授業計画 ※講義回毎の設定が難しい場合に設定して下さい／Class Overall Plan *Only complete if you cannot fill in the section above	<p>春学期 第1回 授業オリエンテーション 第2回～第13回 テキスト・参考資料を中心とした基礎学習 リサーチフェアの準備： グループ発表・ディスカッション 進級論文の作成指導</p> <p>第14回 春学期のまとめ、秋学期の授業計画 夏休み 各自、文献・資料研究、国内外のセミナー・インターンシップへの参加 秋学期 第1回～第10回 リサーチフェアの発表準備 リサーチフェアへでの研究発表および質疑応答</p> <p>第11回～第13回 進級論文の作成指導 第14回 卒業論文報告会への参加</p>																									
教科書／Textbook(s)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者名／author</th> <th>タイトル／title</th> <th>発行所／publisher</th> <th>出版年／year</th> <th>ISBN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最上敏樹</td> <td>『国際機構論講義』</td> <td>岩波書店</td> <td>2017</td> <td></td> </tr> <tr> <td>森川幸一他編</td> <td>『国際法で世界がわかる』</td> <td>岩波書店</td> <td>2016</td> <td></td> </tr> <tr> <td>杉原高嶺</td> <td>『基本国際法（第3版）』</td> <td>有斐閣</td> <td>2018</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	著者名／author	タイトル／title	発行所／publisher	出版年／year	ISBN	最上敏樹	『国際機構論講義』	岩波書店	2017		森川幸一他編	『国際法で世界がわかる』	岩波書店	2016		杉原高嶺	『基本国際法（第3版）』	有斐閣	2018						
	著者名／author	タイトル／title	発行所／publisher	出版年／year	ISBN																					
	最上敏樹	『国際機構論講義』	岩波書店	2017																						
	森川幸一他編	『国際法で世界がわかる』	岩波書店	2016																						
	杉原高嶺	『基本国際法（第3版）』	有斐閣	2018																						
参考書／Reference Materials	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者名／author</th> <th>タイトル／title</th> <th>発行所／publisher</th> <th>出版年／year</th> <th>ISBN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩沢雄司編 集代表</td> <td>『国際条約集 2019年版』</td> <td>有斐閣</td> <td>2019</td> <td></td> </tr> <tr> <td>香西茂・安藤仁介編</td> <td>『国際機構条約・資料集（第2版）』</td> <td>東信堂</td> <td>2002</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	著者名／author	タイトル／title	発行所／publisher	出版年／year	ISBN	岩沢雄司編 集代表	『国際条約集 2019年版』	有斐閣	2019		香西茂・安藤仁介編	『国際機構条約・資料集（第2版）』	東信堂	2002											
	著者名／author	タイトル／title	発行所／publisher	出版年／year	ISBN																					
	岩沢雄司編 集代表	『国際条約集 2019年版』	有斐閣	2019																						
	香西茂・安藤仁介編	『国際機構条約・資料集（第2版）』	東信堂	2002																						
【Compulsory】 成績評価／Evaluation Criteria /Method	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別／Type</th> <th>割合／Percentage</th> <th>評価基準等／Grading Criteria etc.</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平常レポート／Individual reports</td> <td>50</td> <td>進級論文</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別／Type	割合／Percentage	評価基準等／Grading Criteria etc.	平常レポート／Individual reports	50	進級論文																			
	種別／Type	割合／Percentage	評価基準等／Grading Criteria etc.																							
	平常レポート／Individual reports	50	進級論文																							
評価種別は「定期試験、定期レポート、授業中試験、平常レポート、その他」のいずれかを指定してください。																										
種別に「その他」を指定した場合、必ず評価基準																										

<p>等を記載してください。 割合は、合計が 100%になるようにしてください。</p>	<p>その他／ Others</p>	<p>50</p>	<p>平常評価 (関連科目の履修・聴講、ゼミでの発表・質疑応答、 リサーチフェアでの研究発表など)</p>
<p>備考／Note *within 1,300 words</p>	<p>進級論文と平常評価を総合的に勘案して決定する。 正当な理由なく欠席した場合は、減点または不合格。</p>		
<p>検索キーワード／Keywords *within 100 words</p>	<p>国際法／ 国際機構／ 国際の平和および安全、経済的・社会的国際協力</p>		

講義名	研究演習 II	履修基準 年度	4年	担当者	園田 明子 (SONODA AKIKO)
-----	---------	------------	----	-----	----------------------

【Compulsory】 授業目的／Course Objectives *within 1,300 words	履修生が、(1) 現代国際社会の特徴の一つとして国際機構の組織的・機能的発展について分析検討し、(2) 卒業論文の作成に必要な調査研究の基本的手法を習得することが、本演習の目的である。
【Compulsory】 到達目標／Attainment Objectives *within 1,300 words	履修生が、(1) 国際機構の研究に不可欠な基本概念の理解を深め、(2) 研究方法(文献調査、発表・質疑応答、論文作成)を習得し、(3) 卒業論文を提出すること。
関連科目／Related Courses	国際法、国際人権論、国際機構論を履修すること。
【Compulsory】 授業時間外の学習(準備学習等について)／Study Required Outside of Class (Preparation etc.) *within 1,300 words *サブゼミ等行う場合は明記してください。	課題を必ず行い、発表・提出すること。 サブゼミとして適宜、卒論指導を行う。
【Compulsory】 授業計画 第1回／Class Outline Session 1	
【Compulsory】 授業計画 第2回／Class Outline Session 2	
【Compulsory】 授業計画 第3回／Class Outline Session 3	
【Compulsory】 授業計画 第4回／Class Outline Session 4	
【Compulsory】 授業計画 第5回／Class Outline Session 5	
【Compulsory】 授業計画 第6回／Class Outline Session 6	
【Compulsory】 授業計画 第7回／Class Outline Session 7	
【Compulsory】 授業計画 第8回／Class Outline Session 8	
【Compulsory】 授業計画 第9回／Class Outline Session 9	
【Compulsory】 授業計画 第10回／Class Outline Session 10	
【Compulsory】 授業計画 第11回／Class Outline Session 11	
【Compulsory】 授業計画 第12回／Class Outline Session 12	
【Compulsory】 授業計画 第13回／Class Outline Session 13	
【Compulsory】 授業計画 第14回／Class Outline Session 14	
【Compulsory】 授業計画 第15回／Class Outline Session 15	
【Compulsory】 授業計画 第16回／Class Outline Session 16	
【Compulsory】 授業計画 第17回／Class Outline Session 17	
【Compulsory】 授業計画 第18回／Class Outline Session 18	
【Compulsory】 授業計画 第19回／Class Outline Session 19	
【Compulsory】 授業計画 第20回／Class Outline Session 20	

【Compulsory】 授業計画 第 21 回 / Class Outline Session 21																															
【Compulsory】 授業計画 第 22 回 / Class Outline Session 22																															
【Compulsory】 授業計画 第 23 回 / Class Outline Session 23																															
【Compulsory】 授業計画 第 24 回 / Class Outline Session 24																															
【Compulsory】 授業計画 第 25 回 / Class Outline Session 25																															
【Compulsory】 授業計画 第 26 回 / Class Outline Session 26																															
【Compulsory】 授業計画 第 27 回 / Class Outline Session 27																															
【Compulsory】 授業計画 第 28 回 / Class Outline Session 28																															
授業計画 第 29 回 / Class Outline Session 29																															
授業計画 第 30 回 / Class Outline Session 30																															
授業計画 ※講義回毎の設定が難しい場合に設定して下さい / Class Overall Plan *Only complete if you cannot fill in the section above	<p>春学期</p> <p>第 1 回 授業オリエンテーション</p> <p>第 2 回～第 7 回 進級論文発表会、卒論テーマ決定、 文献・資料を中心とした基礎学習</p> <p>第 8 回～第 14 回 研究中間報告およびディスカッション、卒業論文指導</p> <p>夏休み 各自、文献・資料調査、国内外のセミナー・インターンシップへの参加</p> <p>秋学期</p> <p>第 1 回～第 3 回 論文構成の確定、卒業論文の作成指導</p> <p>第 4 回～第 12 回 卒論概要報告、卒業論文の一次提出、完成・最終提出</p> <p>第 13 回～第 14 回 卒業論文報告会</p>																														
教科書 / Textbook(s)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者名 / author</th> <th>タイトル / title</th> <th>発行所 / publisher</th> <th>出版年 / year</th> <th>ISBN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最上敏樹</td> <td>『国際機構論講義』</td> <td>岩波書店</td> <td>2017</td> <td></td> </tr> <tr> <td>森川幸一他 編</td> <td>『国際法で世界がわかる』</td> <td>岩波書店</td> <td>2016</td> <td></td> </tr> <tr> <td>杉原高嶺</td> <td>『基本国際法 (第 3 版)』</td> <td>有斐閣</td> <td>2018</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	著者名 / author	タイトル / title	発行所 / publisher	出版年 / year	ISBN	最上敏樹	『国際機構論講義』	岩波書店	2017		森川幸一他 編	『国際法で世界がわかる』	岩波書店	2016		杉原高嶺	『基本国際法 (第 3 版)』	有斐閣	2018											
著者名 / author	タイトル / title	発行所 / publisher	出版年 / year	ISBN																											
最上敏樹	『国際機構論講義』	岩波書店	2017																												
森川幸一他 編	『国際法で世界がわかる』	岩波書店	2016																												
杉原高嶺	『基本国際法 (第 3 版)』	有斐閣	2018																												
参考書 / Reference Materials	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者名 / author</th> <th>タイトル / title</th> <th>発行所 / publisher</th> <th>出版年 / year</th> <th>ISBN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩沢雄司編 集代表</td> <td>『国際条約集 2019 年版』</td> <td>有斐閣</td> <td>2019</td> <td></td> </tr> <tr> <td>香西茂・安藤 仁介編</td> <td>『国際機構条約・資料集 (第 2 版)』</td> <td>東信堂</td> <td>2002</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	著者名 / author	タイトル / title	発行所 / publisher	出版年 / year	ISBN	岩沢雄司編 集代表	『国際条約集 2019 年版』	有斐閣	2019		香西茂・安藤 仁介編	『国際機構条約・資料集 (第 2 版)』	東信堂	2002																
著者名 / author	タイトル / title	発行所 / publisher	出版年 / year	ISBN																											
岩沢雄司編 集代表	『国際条約集 2019 年版』	有斐閣	2019																												
香西茂・安藤 仁介編	『国際機構条約・資料集 (第 2 版)』	東信堂	2002																												
【Compulsory】 成績評価 / Evaluation Criteria / Method	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別 / Type</th> <th>割合 / Percentage</th> <th>評価基準等 / Grading Criteria etc.</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平常リポート / Individual reports</td> <td>50</td> <td>卒業論文報告会、卒業論文集の作成</td> </tr> <tr> <td>その他 / Others</td> <td>50</td> <td>平常評価 (研究中間報告、卒論概要報告、質疑応答・ディスカッション)</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価種別は「定期試験、定期レポート、授業中試験、平常レポート、その他」のいずれかを指定してください。</p> <p>種別に「その他」を指定した場合、必ず評価基準等を記載してください。</p> <p>割合は、合計が 100%になるようにしてください。</p>	種別 / Type	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.	平常リポート / Individual reports	50	卒業論文報告会、卒業論文集の作成	その他 / Others	50	平常評価 (研究中間報告、卒論概要報告、質疑応答・ディスカッション)																					
種別 / Type	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.																													
平常リポート / Individual reports	50	卒業論文報告会、卒業論文集の作成																													
その他 / Others	50	平常評価 (研究中間報告、卒論概要報告、質疑応答・ディスカッション)																													

備考／Note *within 1,300 words	<p>平常レポートと平常評価を総合的に勘案して決定する。 正当な理由なく欠席した場合は、減点または不合格。</p>		
検索キーワード／Keywords *within 100 words	<p>国際法／ 国際機構／ 国際の平和および安全、経済的・社会的国際協力</p>		

講義名	研究演習 I	履修基準 年度	3年	担当者	小西 尚実 (KONISHI NAOMI)
-----	--------	------------	----	-----	-----------------------

<p>【Compulsory】 授業目的／Course Objectives *within 1,300 words</p>	<p>本ゼミは、国際協力活動や国際ビジネス分野（特に組織論、キャリア開発論、国内外の人事政策、雇用問題、人材育成を取り巻く諸問題）に関心があり、国際人としてのスキル向上に意欲のある学生、自身のキャリア形成に意識の高い学生を歓迎する。本ゼミ活動を通じて受講生は、以下の知識を深めることができる。1、企業戦略の一環としての人事戦略の理解を深め、人的資源管理の基本的知識を習得する。2、主体的にプロジェクトの立案、実施、評価の一連のプロセスに関わり、また、自主的に研究テーマを追求していく姿勢と能力を養える。授業では、英語の論文、専門誌の article などを読み解く必要があるため、英語力は必須です。また、自身で研究テーマを追求し、調査・分析する力が求められます。ゼミでは、チームワークとアウトプットを重視し、様々なプロジェクトにゼミ生が主体的に取り組む機会を多く設ける。受講生はゼミ活動を通じて習得した経験や知識を、実社会に応用する力を習得する。</p> <p>★海外フィールド活動（希望者のみ、定員数を超える場合は選考あり）：夏休み中にフィリピンフィールドワークを実施する。（国際 NGO と協同して貧困層の子供たちへの教育支援活動に従事、アジア開発銀行本部を訪問し、専門家らとの懇談会など。プログラム内容は毎年受け入れ先との調整により変わる）</p>
<p>【Compulsory】 到達目標／Attainment Objectives *within 1,300 words</p>	<p>各自が関心を持つ国際問題、社会問題の研究テーマを追求し、調査、分析を行う力を習得する。進級論文の完成に必要な基本的リサーチ力を身につける。プロジェクトの立案から実施、評価までの一連のプロセスをゼミ活動を通して習得し、実社会に応用する力を身につける。</p>
<p>関連科目／Related Courses</p>	<p>グローバルキャリアデザイン、国際関係論、国際機構論、国際協力論</p>
<p>【Compulsory】 授業時間外の学習（準備学習等について）／Study Required Outside of Class (Preparation etc.) *within 1,300 words *サブゼミ等行う場合は明記してください。</p>	<p>日頃から国内外のニュース、新聞記事や専門雑誌などに、積極的に目を通し問題意識を高めておくこと。本ゼミ生には、国内外のセミナーやインターンシップ、ボランティア等の社会活動に参加し、休暇を利用して途上国に出かけるなど、積極的に外の世界（社会）に関わることを期待する。特に「アウトプット」に意識をおいて、日ごろから、自身の経験や考えを正確に伝えることを心がけること。英語力は必須。</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第1回／Class Outline Session 1</p>	<p>Introduction ゼミ担当者と学生間の相互理解を深めるため、自己紹介、役割分担、自身のゼミにおける成果（output）や目標設定などに関して話し合う。</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第2回／Class Outline Session 2</p>	<p>個人発表1</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第3回／Class Outline Session 3</p>	<p>個人発表2</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第4回／Class Outline Session 4</p>	<p>個人発表3</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第5回／Class Outline Session 5</p>	<p>個人発表4</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第6回／Class Outline Session 6</p>	<p>海外活動報告会・持続的な国際協力活動に向けて（4年生との合同ゼミ）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第7回／Class Outline Session 7</p>	<p>学術論文の情報収集と書き方セミナー@図書館</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第8回／Class Outline Session 8</p>	<p>Understanding Strategic Human Resources Management Theory I 組織の人材戦略と人事管理制度について理解を深める</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第9回／Class Outline Session 9</p>	<p>Understanding Strategic Human Resources Management Theory II 組織の人材戦略と人事管理制度について</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第10回／Class Outline Session 10</p>	<p>ケーススタディ 1（企業研究と発表・グループワーク）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第11回／Class Outline Session 11</p>	<p>ケーススタディ 2（企業研究と発表・グループワーク）</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第12回／Class Outline Session 12</p>	<p>ケーススタディ 3（企業研究と発表・グループワーク）</p>
<p>【Compulsory】</p>	<p>ケーススタディ 4（企業研究と発表・グループワーク）</p>

授業計画 第 13 回 / Class Outline Session 13					
【Compulsory】 授業計画 第 14 回 / Class Outline Session 14	夏の課題とフィールドワークに向けての準備、夏季期間中の課題に関して				
【Compulsory】 授業計画 第 15 回 / Class Outline Session 15	フィールドワーク報告とゼミでの共有				
【Compulsory】 授業計画 第 16 回 / Class Outline Session 16	ケーススタディ 4 (企業研究と発表・グループワーク)				
【Compulsory】 授業計画 第 17 回 / Class Outline Session 17	ケーススタディ 5 (企業研究と発表・グループワーク)				
【Compulsory】 授業計画 第 18 回 / Class Outline Session 18	PCM 手法の理解				
【Compulsory】 授業計画 第 19 回 / Class Outline Session 19	Project Cycle Management 1 (グループワーク)				
【Compulsory】 授業計画 第 20 回 / Class Outline Session 20	Project Cycle Management 2 (グループワーク)				
【Compulsory】 授業計画 第 21 回 / Class Outline Session 21	Project Cycle Management 3 (グループワーク)				
【Compulsory】 授業計画 第 22 回 / Class Outline Session 22	リサーチフェアの指導				
【Compulsory】 授業計画 第 23 回 / Class Outline Session 23	進級論文指導				
【Compulsory】 授業計画 第 24 回 / Class Outline Session 24	進級論文指導				
【Compulsory】 授業計画 第 25 回 / Class Outline Session 25	進級論文指導				
【Compulsory】 授業計画 第 26 回 / Class Outline Session 26	進級論文指導				
【Compulsory】 授業計画 第 27 回 / Class Outline Session 27	Effective presentation and communication in the Global context				
【Compulsory】 授業計画 第 28 回 / Class Outline Session 28	総括 (振り返りと次年度に向けて)				
授業計画 第 29 回 / Class Outline Session 29					
授業計画 第 30 回 / Class Outline Session 30					
授業計画 ※講義回毎の設定が難しい場合に設定して下さい / Class Overall Plan *Only complete if you cannot fill in the section above					
教科書 / Textbook(s)	著者名 / author	タイトル / title	発行所 / publisher	出版年 / year	ISBN
参考書 / Reference Materials	著者名 / author	タイトル / title	発行所 / publisher	出版年 / year	ISBN
【Compulsory】 成績評価 / Evaluation Criteria / Method	種別 / Type	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.		
	その他 / Others	100	出席率、各種ゼミ活動への貢献度および参画度、課題への取り組み、進級論文への取り組みなどを総合的に		

験、平常レポート、その他」 のいずれかを指定してください。 種別に「 その他 」を指定した場合、必ず評価基準等を記載してください。 割合は、合計が 100% になるようにしてください。			評価する。
備考／Note *within 1,300 words			
検索キーワード／Keywords *within 100 words	人材育成 /コンピテンシー/ キャリア開発 /ボランティア /プレゼンテーションスキル/ リーダーシップ/ 人的資源管理 /PCM		

講義名	研究演習 II	履修基準 年度	4年	担当者	小西 尚実 (KONISHI NAOMI)
-----	---------	------------	----	-----	-----------------------

【Compulsory】 授業目的／Course Objectives *within 1,300 words	研究演習 1 で習得した知識やスキルをさらに向上させ、より高度なアウトプットを出せるように高い目標を設定する。学生は、研究演習 1 で取り組んだ自身の研究テーマをさらに深く追求し、質の良い卒業論文を作成する。最終学年として、多くのプロジェクトに主体的に関わり、国際社会で通用するコンピテンシーの習得を意識して最終学年を過ごすこと。
【Compulsory】 到達目標／Attainment Objectives *within 1,300 words	ゼミ生は全員、自身の関心のある研究テーマを選び、成果発表の場として、リサーチフェアや学内外のビジネスプランコンテスト等、主体的に参加すること。また、より高度な卒業論文の完成に向けて、必要となるリサーチスキル（特に 4 年次は実証研究）の習得と理解を深める。
関連科目／Related Courses	
【Compulsory】 授業時間外の学習（準備学習等について）／Study Required Outside of Class (Preparation etc.) *within 1,300 words *サブゼミ等行う場合は明記してください。	日頃から関心のあるテーマに関する国内外の新聞記事や専門雑誌などに、積極的に目を通し問題意識を高めておくこと。社会に出るという責任を日々意識して、自身のスキルアップを常に意識し、向上する努力を惜しまぬこと。日頃から関心のあるテーマに関する国内外の新聞記事や専門雑誌などに、積極的に目を通し問題意識を高めておくこと。社会に出るという責任を日々意識して、自身のスキルアップを常に意識し、向上する努力を惜しまぬこと。
【Compulsory】 授業計画 第 1 回／Class Outline Session 1	Introduction 研究演習 I および進級論文の振り返りと、大学最終年の目標について話し合う
【Compulsory】 授業計画 第 2 回／Class Outline Session 2	進級論文の振り返りと卒業論文のテーマに関して（個人発表）
【Compulsory】 授業計画 第 3 回／Class Outline Session 3	進級論文の振り返りと卒業論文のテーマに関して（個人発表）
【Compulsory】 授業計画 第 4 回／Class Outline Session 4	進級論文の振り返りと卒業論文のテーマに関して（個人発表）
【Compulsory】 授業計画 第 5 回／Class Outline Session 5	研究内容（リサーチデザイン）の検討、フィールド調査方法の理解。調査方法など、卒業論文作成に必要な知識とスキルの習得
【Compulsory】 授業計画 第 6 回／Class Outline Session 6	リサーチフェア、学内外のプロジェクトへの参加の検討、研究トピックスの話し合い
【Compulsory】 授業計画 第 7 回／Class Outline Session 7	研究トピックス 1（事例研究とグループ発表）
【Compulsory】 授業計画 第 8 回／Class Outline Session 8	研究トピックス 2（事例研究とグループ発表）
【Compulsory】 授業計画 第 9 回／Class Outline Session 9	研究トピックス 3（事例研究とグループ発表）
【Compulsory】 授業計画 第 10 回／Class Outline Session 10	実証研究・調査方法の理解を深める
【Compulsory】 授業計画 第 11 回／Class Outline Session 11	卒業論文アンケート（予備調査）
【Compulsory】 授業計画 第 12 回／Class Outline Session 12	卒業論文アンケート（予備調査）
【Compulsory】 授業計画 第 13 回／Class Outline Session 13	卒業論文アンケート（予備調査）
【Compulsory】 授業計画 第 14 回／Class Outline Session 14	卒業論文アンケート（予備調査）
【Compulsory】 授業計画 第 15 回／Class Outline Session 15	卒業論文アンケート（予備調査）
【Compulsory】 授業計画 第 16 回／Class Outline Session 16	研究トピックス 1（日本語論文の精読と発表の準備）
【Compulsory】 授業計画 第 17 回／Class Outline Session 17	研究課題の発表とグループワーク
【Compulsory】 授業計画 第 18 回／Class Outline Session 18	研究課題の発表とグループワーク

【Compulsory】 授業計画 第 19 回 / Class Outline Session 19	研究課題の発表とグループワーク				
【Compulsory】 授業計画 第 20 回 / Class Outline Session 20	研究課題の発表とグループワーク				
【Compulsory】 授業計画 第 21 回 / Class Outline Session 21	研究トピックス 2 (英語論文の精読と発表の準備)				
【Compulsory】 授業計画 第 22 回 / Class Outline Session 22	研究課題の発表とグループワーク				
【Compulsory】 授業計画 第 23 回 / Class Outline Session 23	研究課題の発表とグループワーク				
【Compulsory】 授業計画 第 24 回 / Class Outline Session 24	研究課題の発表とグループワーク				
【Compulsory】 授業計画 第 25 回 / Class Outline Session 25	個人プレゼンテーションとクラスディスカッション				
【Compulsory】 授業計画 第 26 回 / Class Outline Session 26	個人プレゼンテーションとクラスディスカッション				
【Compulsory】 授業計画 第 27 回 / Class Outline Session 27	個人プレゼンテーションとクラスディスカッション				
【Compulsory】 授業計画 第 28 回 / Class Outline Session 28	個人プレゼンテーションとクラスディスカッション、総括				
授業計画 第 29 回 / Class Outline Session 29					
授業計画 第 30 回 / Class Outline Session 30					
授業計画 ※講義回毎の設定が難しい場合に設定 して下さい / Class Overall Plan *Only complete if you cannot fill in the section above					
教科書 / Textbook(s)	著者名 / author	タイトル / title	発行所 / publisher	出版年 / year	ISBN
参考書 / Reference Materials	著者名 / author	タイトル / title	発行所 / publisher	出版年 / year	ISBN
【Compulsory】 成績評価 / Evaluation Criteria / Method	種別 / Type	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.		
	その他 / Others	100	出席率、ゼミ行事への参画度および貢献度、課題への 取り組み、卒業論文への取り組みなどを総合的に評価 する。		
備考 / Note *within 1,300 words	4 回生は、火曜日 4 限、5 限の 2 コマ連続で合同ゼミを実施することがあるため、 特別な事情が無い限り、4 限も空けておくこと。小西ゼミは学生が主体的に様々な プロジェクトを企画、立案して、ゼミ活動を盛り上げてきている。4 回生は、積 極的にリーダーシップを発揮してくれることを期待する。				
検索キーワード / Keywords *within 100 words	スキル形成 /人材育成 /キャリア開発 /プレゼンテーション/コンピテンシー/ 世界市民/リーダーシップ/				

講義名	研究演習 I	履修基準 年度	3年	担当者	大村 華子 (OHMURA HANAKO)
-----	--------	------------	----	-----	-----------------------

<p>【Compulsory】 授業目的／Course Objectives *within 1,300 words</p>	<p>授業の目的：政治学の専門的能力の基盤形成を図り、実証的に政治を分析する能力を養うことを目指します。</p> <p>授業の概要： 本研究演習では、第一に政治学 (political science) の基礎的素養や分析能力を養うことを目指します。政治的な現象を扱う政治学とは、幅広いバックグラウンドを持つ分析者が参入してくることが可能な分野です。その中ではしばしば、価値、信念、イデオロギーの対立から、客観的な証拠にもとづいた冷静な議論が妨げられることもあります。政治学を基盤として政治現象にアプローチするということは、価値</p>
<p>【Compulsory】 到達目標／Attainment Objectives *within 1,300 words</p>	<p>一般就職を希望する人であっても、政治学を専門に大学院に進学できる水準に到達することを目標とします。政治学の中でも、現代政治分析、比較政治学、政治行動論、日本政治分析といった分野の習熟が期待できます。</p>
<p>関連科目／Related Courses</p>	<p>総合政策 A、政治学概論、統計学 I/II、データ解析 I</p>
<p>【Compulsory】 授業時間外の学習 (準備学習等について)／Study Required Outside of Class (Preparation etc.) *within 1,300 words *サブゼミ等行う場合は明記してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 毎週の読書課題 (reading assignments)。後期以降は、比較政治学の標準的な概説書を英語で輪読し、授業の最初の 20-30 分間で議論をし理解を深めます。 報告担当に当たっている場合はレジュメを作成し、内容を授業の前半部分で説明して下さい。 担当にあたっていない人は、毎回簡単なブリーフィングをまとめたペーパーを提出して下さい。 コンピューター実習 (主にフリー統計ソフトウェアの R を使用) の際には宿題が課されることがあります。 学年末のペーパーの執筆 (3 年次には 15000 字程度の進級論文、
<p>【Compulsory】 授業計画 第 1 回／Class Outline Session 1</p>	<p>作業グループ決め、今後の予定の確認</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第 2 回／Class Outline Session 2</p>	<p>【政治学方法論の基礎】 スティーヴン・ヴァン・エヴェラ (2009) 『政治学のリサーチ・メソッド』勁草書房、第 1 章。(Stephen van Evera (1997) Guide to Method for Students of Political Science, Ithaca: Cornell University Press, Chapter 1.) 久米郁男 (2013) 『原因を推論する—政治方法論のすすめ』有斐閣、序章～第 1 章。 【政治学の基礎】 砂原庸介他 (2015) 『政治学の第一歩』有斐閣、1—</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第 3 回／Class Outline Session 3</p>	<p>【理論的検討を経て仮説を導く】 伊藤修一郎 (2011) 『政策リサーチ入門—仮説検証による問題解決の技法』東京大学出版会、序章～第 2 章。 久米郁男 (2013) 『原因を推論する—政治方法論のすすめ』有斐閣、第 2 章～第 4 章。 建林正彦・曾我謙悟・待鳥聡史 (2008) 『比較政治制度論』有斐閣、第 1 章 (14—23 頁)。 【政治学の基礎】 砂原庸介他 (2015) 『政治学の第一歩』有斐閣、3—4 章。</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第 4 回／Class Outline Session 4</p>	<p>【仮説を検証する】 伊藤修一郎 (2011) 『政策リサーチ入門—仮説検証による問題解決の技法』東京大学出版会、第 3 章～第 4 章。 久米郁男 (2013) 『原因を推論する—政治方法論のすすめ』、有斐閣、第 5 章～第 8 章。 【政治学の基礎】 砂原庸介他 (2015) 『政治学の第一歩』有斐閣、5—6 章。</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第 5 回／Class Outline Session 5</p>	<p>【政治行動論の導入】 伊藤光利・田中愛治・真淵勝 (2000) 『政治過程論』有斐閣、第 4 章。小林良彰 (2000) 『選挙・投票行動』東京大学出版会、第 1 章。 Russel J. Dalton and Hans-Dieter Klingemann (2009) “Chapter 1. Citizens and Political Behavior,” Russel J. Dalton and Hans-Dieter Klingemann, The Oxford Handbook of Political Beha</p>

【Compulsory】 授業計画 第 6 回／Class Outline Session 6	【調整日】
【Compulsory】 授業計画 第 7 回／Class Outline Session 7	【政治行動論における重要なモデル群—理論モデル】 伊藤光利・田中愛治・真淵勝（2000）『政治過程論』有斐閣、第 5 章（126－132 頁）。川人貞史・吉野孝・平野浩・加藤淳子（2001）『現代の政党と選挙』第 9 章。小林良彰（2000）『選挙・投票行動』東京大学出版会、第 2 章。 【政治学の基礎】 久保慶一他（2016）『比較政治学の考え方』有斐閣、第 3－5 章。
【Compulsory】 授業計画 第 8 回／Class Outline Session 8	【政治行動論における重要なモデル群—経験的モデル】 伊藤光利・田中愛治・真淵勝（2000）『政治過程論』有斐閣、第 5 章（107－126 頁）。川人貞史・吉野孝・平野浩・加藤淳子（2001）『現代の政党と選挙』第 8 章。小林良彰（2000）『選挙・投票行動』東京大学出版会、第 4－6 章。 【政治学の基礎】 久保慶一他（2016）『比較政治学の考え方』有斐閣、第 6－7 章。
【Compulsory】 授業計画 第 9 回／Class Outline Session 9	【制度を学ぶ—個人の行動と制度による制約のダイナミズム】 河野勝（2002）『制度』東京大学出版会、第 1－2 章。建林正彦・曾我謙悟・待鳥聡史（2008）『比較政治制度論』有斐閣、第 1 章（23－34 頁）—第 2 章。 【政治学の基礎】 久保慶一他（2016）『比較政治学の考え方』有斐閣、第 8－9 章。
【Compulsory】 授業計画 第 10 回／Class Outline Session 10	【選挙制度を学ぶ—何が有権者の行動を規定するのか？】 建林正彦・曾我謙悟・待鳥聡史（2008）『比較政治制度論』有斐閣、第 3 章。伊藤光利・田中愛治・真淵勝（2000）『政治過程論』有斐閣、第 6 章。川人貞史・吉野孝・平野浩・加藤淳子（2001）『現代の政党と選挙』第 6 章。 【政治学の基礎】 久保慶一他（2016）『比較政治学の考え方』有斐閣、第 10－11、13 章。
【Compulsory】 授業計画 第 11 回／Class Outline Session 11	R を用いた統計分析実習飯田健（2013）『計量政治分析』共立出版と教員による実習マニュアルを参照
【Compulsory】 授業計画 第 12 回／Class Outline Session 12	R を用いた統計分析実習飯田健（2013）『計量政治分析』共立出版と教員による実習マニュアルを参照
【Compulsory】 授業計画 第 13 回／Class Outline Session 13	研究報告
【Compulsory】 授業計画 第 14 回／Class Outline Session 14	研究報告
【Compulsory】 授業計画 第 15 回／Class Outline Session 15	研究報告
【Compulsory】 授業計画 第 16 回／Class Outline Session 16	【政治学における実験研究】 加藤淳子他（2014）『政治学の方法』有斐閣、第 5 章。 肥前洋一編著（2016）『実験政治学』勁草書房、第 1－2 章。
【Compulsory】 授業計画 第 17 回／Class Outline Session 17	【政治学における実験研究】 肥前洋一編著（2016）『実験政治学』勁草書房、第 3－4 章。 ＋事例の論文
【Compulsory】 授業計画 第 18 回／Class Outline Session 18	【政治学における実験研究】 肥前洋一編著（2016）『実験政治学』勁草書房、第 5－6 章。 ＋事例の論文
【Compulsory】 授業計画 第 19 回／Class Outline Session 19	リサーチフェアに向けた準備
【Compulsory】 授業計画 第 20 回／Class Outline Session 20	リサーチフェアに向けた準備
【Compulsory】 授業計画 第 21 回／Class Outline Session 21	リサーチフェアに向けた準備
【Compulsory】 授業計画 第 22 回／Class Outline Session 22	リサーチフェアに向けた準備
【Compulsory】 授業計画 第 23 回／Class Outline Session 23	進級論文執筆に向けた個人作業
【Compulsory】	進級論文執筆に向けた個人作業

授業計画 第 24 回 / Class Outline Session 24					
【Compulsory】 授業計画 第 25 回 / Class Outline Session 25	研究報告 (1 人 20-30 分)				
【Compulsory】 授業計画 第 26 回 / Class Outline Session 26	研究報告 (1 人 20-30 分)				
【Compulsory】 授業計画 第 27 回 / Class Outline Session 27	研究報告 (1 人 20-30 分)				
【Compulsory】 授業計画 第 28 回 / Class Outline Session 28	研究報告 (1 人 20-30 分)				
授業計画 第 29 回 / Class Outline Session 29					
授業計画 第 30 回 / Class Outline Session 30					
授業計画 ※講義回毎の設定が難しい場合に設定して下さい / Class Overall Plan *Only complete if you cannot fill in the section above					
教科書 / Textbook(s)	著者名 / author	タイトル / title	発行所 / publisher	出版年 / year	ISBN
参考書 / Reference Materials	著者名 / author	タイトル / title	発行所 / publisher	出版年 / year	ISBN
【Compulsory】 成績評価 / Evaluation Criteria / Method	種別 / Type	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.		
	その他 / Others	100	授業時のパフォーマンス全体を見ながら評価します。		
備考 / Note	*within 1,300 words				
検索キーワード / Keywords	*within 100 words				

講義名	研究演習 II	履修基準 年度	4年	担当者	大村 華子 (OHMURA HANAKO)
-----	---------	------------	----	-----	-----------------------

<p>【Compulsory】 授業目的／Course Objectives *within 1,300 words</p>	<p>授業の目的：政治学の専門的能力の基盤形成を図り、実証的に政治を分析する能力を養うことを目指します。</p> <p>授業の概要： 本研究演習では、第一に3回生のゼミ時に学習した政治学、政治行動論の基礎的な内容を踏まえた上で、卒業論文の作成のための準備を進めます。また第二に、卒業論文の執筆に向けた作業のかたわらで、比較政治学の標準的な概説書の学習も並行して進めます。</p> <p>4回生時は、なにより就職活動が優先されるべきであるとの認識のもと、特に前期に関しては厳格な出席基準を設けることはしません。研究は一定程度進めながら、無理の</p>
<p>【Compulsory】 到達目標／Attainment Objectives *within 1,300 words</p>	<p>一般就職を希望する人であっても、政治学を専門に大学院に進学できる水準に到達することを目標とします。政治学の中でも、現代政治分析、比較政治学、政治行動論、日本政治分析といった分野の習熟が期待できます。</p>
<p>関連科目／Related Courses</p>	
<p>【Compulsory】 授業時間外の学習（準備学習等について）／Study Required Outside of Class (Preparation etc.) *within 1,300 words *サブゼミ等行う場合は明記してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動期はそちらに力点を置いていただきたいと思います。その一方で研究報告の準備を進めてください。 ・学期末の研究報告は成績評価にも直結しますので、入念に準備を進めてくださることを期待します。
<p>【Compulsory】 授業計画 第1回／Class Outline Session 1</p>	初回の打ち合わせ
<p>【Compulsory】 授業計画 第2回／Class Outline Session 2</p>	政治行動論における主要な文献の購読：投票行動研究の原型
<p>【Compulsory】 授業計画 第3回／Class Outline Session 3</p>	調整日
<p>【Compulsory】 授業計画 第4回／Class Outline Session 4</p>	調整日
<p>【Compulsory】 授業計画 第5回／Class Outline Session 5</p>	政治行動論における主要な文献の購読：政治的態度に関する研究の諸相
<p>【Compulsory】 授業計画 第6回／Class Outline Session 6</p>	調整日
<p>【Compulsory】 授業計画 第7回／Class Outline Session 7</p>	調整日
<p>【Compulsory】 授業計画 第8回／Class Outline Session 8</p>	政治行動論における主要な文献の購読：態度の形成に影響を与える諸要因の検討
<p>【Compulsory】 授業計画 第9回／Class Outline Session 9</p>	調整日
<p>【Compulsory】 授業計画 第10回／Class Outline Session 10</p>	調整日
<p>【Compulsory】 授業計画 第11回／Class Outline Session 11</p>	政治行動論における主要な文献の購読：投票参加と投票選択
<p>【Compulsory】 授業計画 第12回／Class Outline Session 12</p>	調整日
<p>【Compulsory】 授業計画 第13回／Class Outline Session 13</p>	学期末研究報告（1人当たり30分程度）
<p>【Compulsory】 授業計画 第14回／Class Outline Session 14</p>	学期末研究報告（1人当たり30分程度）
<p>【Compulsory】 授業計画 第15回／Class Outline Session 15</p>	学期末研究報告（1人当たり30分程度）
<p>【Compulsory】 授業計画 第16回／Class Outline Session 16</p>	秋学期初回打ち合わせ
<p>【Compulsory】</p>	個人の研究報告（1人当たり30分）

授業計画 第 17 回 / Class Outline Session 17					
【Compulsory】 授業計画 第 18 回 / Class Outline Session 18	個人の研究報告 (1 人 10-20 分)				
【Compulsory】 授業計画 第 19 回 / Class Outline Session 19	リサーチフェアに向けた準備				
【Compulsory】 授業計画 第 20 回 / Class Outline Session 20	リサーチフェアに向けた準備				
【Compulsory】 授業計画 第 21 回 / Class Outline Session 21	卒業論文関連の作業				
【Compulsory】 授業計画 第 22 回 / Class Outline Session 22	卒業論文関連の作業				
【Compulsory】 授業計画 第 23 回 / Class Outline Session 23	卒業論文関連の作業				
【Compulsory】 授業計画 第 24 回 / Class Outline Session 24	卒業論文関連の作業				
【Compulsory】 授業計画 第 25 回 / Class Outline Session 25	卒業論文関連の作業				
【Compulsory】 授業計画 第 26 回 / Class Outline Session 26	卒業論文関連の作業				
【Compulsory】 授業計画 第 27 回 / Class Outline Session 27	卒業論文報告会 (1 人当たり 40 分)				
【Compulsory】 授業計画 第 28 回 / Class Outline Session 28	卒業論文報告会 (1 人当たり 40 分)				
授業計画 第 29 回 / Class Outline Session 29	卒業論文報告会 (1 人当たり 40 分)				
授業計画 第 30 回 / Class Outline Session 30	予備日				
授業計画 ※講義回毎の設定が難しい場合に設定して下さい / Class Overall Plan *Only complete if you cannot fill in the section above					
教科書 / Textbook(s)	著者名 / author	タイトル / title	発行所 / publisher	出版年 / year	ISBN
参考書 / Reference Materials	著者名 / author	タイトル / title	発行所 / publisher	出版年 / year	ISBN
【Compulsory】 成績評価 / Evaluation Criteria / Method	種別 / Type	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.		
	その他 / Others	100	授業時のパフォーマンス全体を考慮しながら評価します。		
備考 / Note	評価種別は「 定期試験、定期レポート、授業中試験、平常レポート、その他 」のいずれかを指定してください。 種別に「 その他 」を指定した場合、必ず評価基準等を記載してください。 割合は、合計が 100%になるようにしてください。				
*within 1,300 words					
検索キーワード / Keywords					

*within 100 words

講義名	研究演習 I	履修基準 年度	3年	担当者	西立野 修平 (NISHITATENO SYUHEI)
-----	--------	------------	----	-----	-----------------------------

<p>【Compulsory】 授業目的／Course Objectives *within 1,300 words</p>	<p>この演習では、貿易、交通、エネルギー分野における政策評価を行います。例えば、2007年に締結された日本－チリ間の自由貿易協定（FTA）によって、日本のワイン輸入がどれだけ増えたか？排出ガス規制の導入によって、どれだけ大都市圏の大気汚染が改善したか？固定価格買い取り制度の導入はどれほど太陽光発電を普及させたか？政策評価とは、こうした政策効果を数値し、政策の是非を議論することです。本演習では、まず、政策評価を行うために必要な分析フレームワーク（因果推論）を学びます。その上で各自が研究テーマを分析/考察します。</p>
<p>【Compulsory】 到達目標／Attainment Objectives *within 1,300 words</p>	<ul style="list-style-type: none"> 統計分析を使って政策評価を行うことができる エクセルを使って大規模なデータを整理・分析することができる 研究の中身について明確にかつ正確に説明することができる 研究テーマに関する文献・論文・記事を幅広く収集し整理することができる
<p>関連科目／Related Courses</p>	<p>ミクロ経済学、マクロ経済学、国際貿易論、環境経済学、公共経済学、統計学 I/II、データ解 I/II</p>
<p>【Compulsory】 授業時間外の学習（準備学習等について）／Study Required Outside of Class (Preparation etc.) *within 1,300 words *サブゼミ等行う場合は明記してください。</p>	<p>サブゼミを週1回実施します（日時は相談の上決定します）。</p>
<p>【Compulsory】 授業計画 第1回／Class Outline Session 1</p>	
<p>【Compulsory】 授業計画 第2回／Class Outline Session 2</p>	
<p>【Compulsory】 授業計画 第3回／Class Outline Session 3</p>	
<p>【Compulsory】 授業計画 第4回／Class Outline Session 4</p>	
<p>【Compulsory】 授業計画 第5回／Class Outline Session 5</p>	
<p>【Compulsory】 授業計画 第6回／Class Outline Session 6</p>	
<p>【Compulsory】 授業計画 第7回／Class Outline Session 7</p>	
<p>【Compulsory】 授業計画 第8回／Class Outline Session 8</p>	
<p>【Compulsory】 授業計画 第9回／Class Outline Session 9</p>	
<p>【Compulsory】 授業計画 第10回／Class Outline Session 10</p>	
<p>【Compulsory】 授業計画 第11回／Class Outline Session 11</p>	
<p>【Compulsory】 授業計画 第12回／Class Outline Session 12</p>	
<p>【Compulsory】 授業計画 第13回／Class Outline Session 13</p>	
<p>【Compulsory】 授業計画 第14回／Class Outline Session 14</p>	
<p>【Compulsory】 授業計画 第15回／Class Outline Session 15</p>	
<p>【Compulsory】 授業計画 第16回／Class Outline Session 16</p>	

【Compulsory】 授業計画 第17回／Class Outline Session 17																										
【Compulsory】 授業計画 第18回／Class Outline Session 18																										
【Compulsory】 授業計画 第19回／Class Outline Session 19																										
【Compulsory】 授業計画 第20回／Class Outline Session 20																										
【Compulsory】 授業計画 第21回／Class Outline Session 21																										
【Compulsory】 授業計画 第22回／Class Outline Session 22																										
【Compulsory】 授業計画 第23回／Class Outline Session 23																										
【Compulsory】 授業計画 第24回／Class Outline Session 24																										
【Compulsory】 授業計画 第25回／Class Outline Session 25																										
【Compulsory】 授業計画 第26回／Class Outline Session 26																										
【Compulsory】 授業計画 第27回／Class Outline Session 27																										
【Compulsory】 授業計画 第28回／Class Outline Session 28																										
授業計画 第29回／Class Outline Session 29																										
授業計画 第30回／Class Outline Session 30																										
授業計画 ※講義回毎の設定が難しい場合に設定して下さい／Class Overall Plan *Only complete if you cannot fill in the section above	<p>【春学期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回：オリエンテーション（自己紹介、ゼミの進め方、役職決め等） 第2回～11回：政策評価の基礎とスキルを習得 第12回～14回：研究テーマの発表 <p>【夏休み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ゼミ合宿 <p>【秋学期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回～3回：研究テーマの発表 第4回～7回：リサーチフェアに向けた準備 第8回～11回：進級論文の執筆 第12回～14回：研究報告 																									
教科書／Textbook(s)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者名／author</th> <th>タイトル／title</th> <th>発行所／publisher</th> <th>出版年／year</th> <th>ISBN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中室牧子、津川友介</td> <td>原因と結果の経済学</td> <td>ダイヤモンド社</td> <td>2017年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>伊藤公一朗</td> <td>データ分析の力 因果関係に迫る思考法</td> <td>光文社新書</td> <td>2017年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>田中隆一</td> <td>計量経済学の第一歩</td> <td>有斐閣ストゥディア</td> <td>2016年</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	著者名／author	タイトル／title	発行所／publisher	出版年／year	ISBN	中室牧子、津川友介	原因と結果の経済学	ダイヤモンド社	2017年		伊藤公一朗	データ分析の力 因果関係に迫る思考法	光文社新書	2017年		田中隆一	計量経済学の第一歩	有斐閣ストゥディア	2016年						
	著者名／author	タイトル／title	発行所／publisher	出版年／year	ISBN																					
	中室牧子、津川友介	原因と結果の経済学	ダイヤモンド社	2017年																						
	伊藤公一朗	データ分析の力 因果関係に迫る思考法	光文社新書	2017年																						
	田中隆一	計量経済学の第一歩	有斐閣ストゥディア	2016年																						
参考書／Reference Materials	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者名／author</th> <th>タイトル／title</th> <th>発行所／publisher</th> <th>出版年／year</th> <th>ISBN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	著者名／author	タイトル／title	発行所／publisher	出版年／year	ISBN																				
	著者名／author	タイトル／title	発行所／publisher	出版年／year	ISBN																					

【Compulsory】 成績評価／Evaluation Criteria /Method	種別／ Type	割合／ Percentage	評価基準等 /Grading Criteria etc.
評価種別は「 定期試験、定期レポート、授業中試験、平常レポート、その他 」のいずれかを指定してください。 種別に「 その他 」を指定した場合、必ず評価基準等を記載してください。 割合は、合計が 100%になるようにしてください。	その他／ Others	100	40%発表内容、進級論文 60%
備考／Note *within 1,300 words	リサーチフェアや他ゼミとの合同研究会での発表を推奨します。		
検索キーワード／Keywords *within 100 words	政策評価、因果推論、貿易、交通、環境、エネルギー		